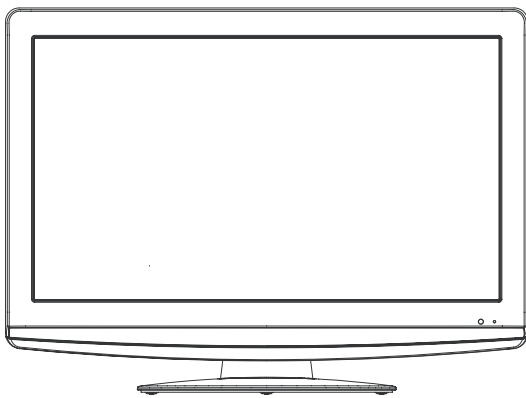
ORION

22型液晶テレビ

品番 LD22V-TD1

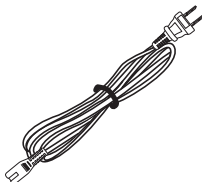
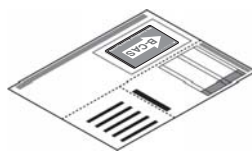
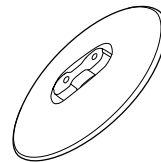
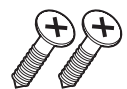
取扱説明書

このたびはORION液晶テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。お読みになったあとは大切に保存し、おわかりにならないことがあったときに再読してください。
■ 保証書は必ず「販売店／購入日」等の記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

もくじ

付属品をお確かめください。

リモコン×1

単3乾電池×2

電源コード×1

B-CAS(ビーキャス）カード×1

本体スタンド×1

スタンド固定用ネジ×2

安全上のご注意

この取扱説明書の文中にでてくる「テレビ」「本機」ということばには、「付属品」も含まれています。

ご使用の前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになったあとはいつでも見られる所にかならず保存してください。

本製品は安全に十分に配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
本機および付属品をご使用になるときは事故を防ぐために、次の注意事項をよくご理解の上かならずお守りください。

この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。

絵表示について
この取扱説明書では、絵表示をしています。その表示の意味は次のようになっています。

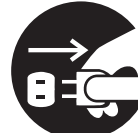
絵表示の例

注意(警告を含む)を促す記号

高圧注意

行為を禁止する記号

接触禁止

行為を強制したり指示する

プラグをコンセントから抜け

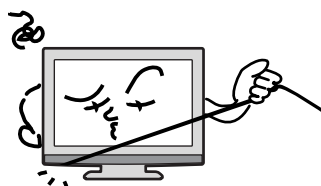
家庭用品品質表示法による表示
ご使用上の注意

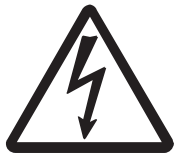
1. 内部の温度が上昇しますので通風孔の周囲に適当な間隔をおいてください。
2. 温度の高い場所や湿気の多い場所は避けてください。
3. 内部には高電圧部分がありますので、やむをえず裏ぶたをあけるときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
4. ちり、ほこりを取るためテレビの内部を掃除するときは販売店もしくはサービスセンターに相談してください。

オリオン電機株式会社

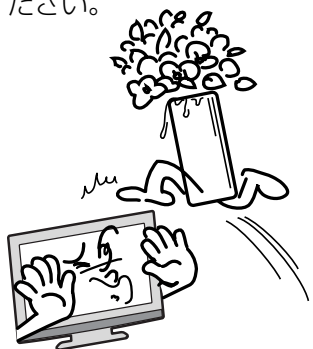
警　告

電源コードやプラグの損傷による火災・感電を防ぐため、次のことをお守りください

- 電源コードやプラグを傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したりしないでください。
- 重いものをのせたり、電源コードがテレビの下敷きにならないようにしてください。
- 電源コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため熱器具に近づけないでください。
- 電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずにかならずプラグを持って抜いてください。

禁　止

分解や改造をしない
火災や感電の原因となります
キャビネットを開けないでください。
内部には高電圧部分があるため、**感電の原因**となります。お客様による修理は絶対にしないでください。
内部の点検、調整、修理は、お買い上げ店にご依頼ください。

高圧注意　分解禁止

内部に異物や水分を入れない
金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、**感電や火災の原因**となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

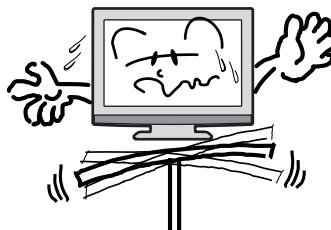
- 通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類(安全ピンやヘヤピンなど)を置かないでください。
- 水がかかるような場所では使用しないでください。

水場での使用禁止

雷が鳴りだしたらプラグに触れない
感電の原因となります

接触禁止

本機は国内専用です
電源プラグを交流100ボルト(AC100V)の家庭用電源コンセント以外にはつながないでください。異なる電源電圧で使用すると**火災や感電の原因**となります。

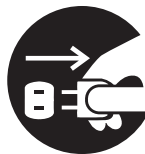
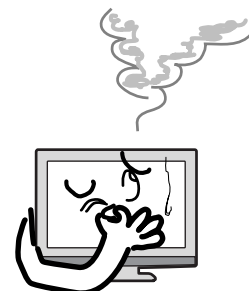
AC100V以外禁止

設置場所や取り付けには気を付けて
水平で安定した場所に設置する
ぐらついた台や傾いた台などに置くと、落下による**けがや物損事故の原因**となることがあります。
また、台などにのせて設置する場合は転倒防止の処置をしてください。

禁　止

異常時の処置
故障のまま使い続けると、**火災や感電、けがの原因**となります
次のような症状が見つかったら

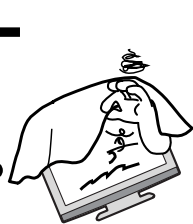
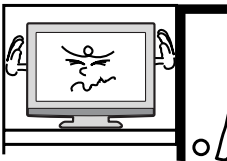
- 異常な音や臭いがする、煙が出ている。
- 内部に水や異物が入った。
- 本機を落とした、本機の一部を破損した。
- 正常に動作しない。(画面が映らない、音がでない)
- 電源コードやプラグに傷がある。

プラグをコンセントから抜け

ただちに、電源スイッチを切って、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店または、ドウシシャサービスセンター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。
電源プラグをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。

注　意

通風孔をふさがない

通風孔(放熱のための穴)をふさがないでください。内部に熱がこもり**発火やけが、感電の原因**となることがあります。

- 密閉したラックの中に入れないでください。
- じゅうたんや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。
- 布団や毛布、布をかけないでください。
- 暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など高温になるところに置かないでください。
- 本機の設置は周囲から10cm以上の間隔を開けてください。

禁　止

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

火災や感電の原因となることがあります。

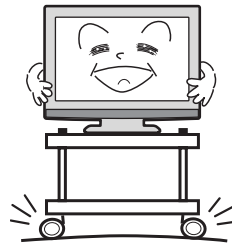
禁　止

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

倒れたり、こわれたりして、**けがの原因**となることがあります。特に小さなお子様には気を付けてあげてください。

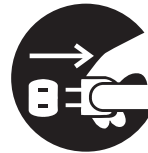
禁　止

キャスター付テレビ台に置くときは、キャスター止めをする

可動式の台は動きやすいため、転倒による**けがの原因**となることがあります。

指　示

安全のため電源プラグを抜く

次の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。**思わぬ火災や感電の事故から防ぎます。**

- 旅行などでしばらく使わない場合
- お手入れをする場合
- 本機を移動させる場合(この場合は、接続コードなどもはずしてください。)

プラグをコンセントから抜け

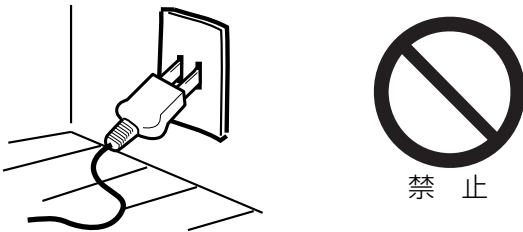
濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

1年に1度は内部の掃除をお買い上げ店にご依頼ください
内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、**火災や故障の原因**となります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。

- お客様ご自身による内部の掃除は絶対にしないでください。**感電の原因**となります。
- 内部清掃費用については、お買い上げ店にご相談ください。

ときどきは電源コンセントやプラグの点検を
長い間コンセントにプラグを差し込んだままにしておくと、ほこりがたまり、湿気が加わることで漏えい電流が流れ、**火災の原因**となることがあります。
電源プラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は、特に危険です。

思わぬ事故を防ぐために

- コンセントの周りにほこりをためないようときどき掃除をする。
- 電源プラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- コンセントやプラグに異常がないか確かめる。

もし、異常があるときはすぐにお買い上げ店または、ドウシシャサービスセンター（裏表紙に記載）にご相談ください。

液晶パネルの取り扱いについて

- 液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症などの原因となることがあります。万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師にご相談ください。また、目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で最低15 分以上洗浄した後、医師にご相談ください。

お手入れについて

- お手入れの際は、必ず本機及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 柔らかい布で軽く乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後は乾拭きしてください。
- キャビネットの変質・破損・塗料はがれの恐れがありますので、次のことをお守りください。
  - ベンジンやシンナーは使わないでください。また、化学ぞうきんの使用は、注意書きに従ってください。
  - 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- 液晶パネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。パネル保護のため、次のことをお守りください。
  - パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押したりこすったりしないでください。傷付き・変色の原因となります。
  - パネルの表面に露付きなどによる水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。色ムラ・変色の原因となります。
  - パネルの汚れを拭き取るときは、ほこりの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。傷付き・変色の原因となります。

使用上のご注意

面欠点について
液晶パネルには、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありません。

残像について
静止画（画面表示など）やメニュー表示を短時間（約1分間）表示し、映像内容が変わったときに前の静止画が残像として見えることがありますが、故障ではありません。自然に回復します。

フォーカス（焦点）について
本製品はハーフデコード方式を採用しているため、映像が左右にゆっくりスクロールした際に、一部フォーカス（焦点）が甘くなることがありますが、故障ではありません。
＊デコードとは
一般的には、圧縮されている映像や音声データを、圧縮されていない元のデータに戻し、人間の目や耳で理解できる形に変換する動作のことを言います。
※本製品は、地上デジタルHD放送視聴時、送信されてくる圧縮された映像データに対して、横方向のみ元データの半分を画像処理しています。

焼き付きについて
静止画 （画面表示など）や、ゲーム機などの動きの少ない映像や画像を長時間または繰り返し表示したり、ハイビジョン放送（16：9）の映像をノーマル （4：3） の画面サイズで長時間ご覧になると、液晶パネルが焼き付きを起こす場合がありますので、ノーマル（4：3）以外のモードで使用することをおすすめします。
焼き付きが軽度のときは、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。

本機の温度について
本機は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合があります。熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、ビデオテープなどの熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

ノイズについて
SD放送（一般画質放送）からHD放送（ハイビジョン放送）、あるいは逆にチャンネルを切り換えた場合に画面上にノイズが発生することがありますが、回路処理上で起こるものであり、故障ではありません。

輸送について
本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスの破損や面欠点の増加のおそれがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

本機を破棄するとき
一般の廃棄物と一緒にしないでください。
ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。
本機の内部で使用している蛍光管の中には水銀が含まれています。破棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

B-CAS カードについて
付属のB-CASカードはデジタル放送を視聴していただくために必要で大切なカードです。
破損や紛失の場合はただちにB-CAS[(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ]カスタマーセンターへご連絡ください。
なお、お客さまの責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が発生します。

デジタル放送受信時
デジタル放送受信時の立ち上げ時間は約20秒で、チャンネル切り替え時間は約4秒となっており、多少時間がかかりますが、故障ではありません。
クイック起動を「オン」に設定すると、立ち上げ時間が7秒以下になります(36ページの「クイック起動」を参照してください)。

双方向通信について
本機は、電話回線を利用した双方向通信機能は搭載しておりません。

データ放送について
本機は、データ放送に対応しておりません。

地上デジタル放送のCATV放送対応について
本機は、パススルー方式のすべての周波数に対応しています。
送信方式については、ご契約・もしくはご契約予定のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

廃棄時にご注意願います
2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式/液晶式/プラズマ式)を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

主な特長

地上デジタルチューナー内蔵
地上デジタル放送は、従来のアナログテレビと同じUHF電波を利用した放送です。
アナログ放送では得られない高画質で高音質な放送を楽しむことができます。
地上デジタル放送では番組内容によりSD放送（一般画質放送）とHD放送（ハイビジョン放送）があり、SD放送の場合はHD放送と比べ画質が落ちますが、放送の内容によるもので故障では有りません。

オンスクリーン表示
映像調整、音声調整など、画面を見ながら設定ができます。

映像/音声調整
お好みの映像と音声を選ぶことができます。
画面の「ブライトネス」・「コントラスト」・「色」・「色あい」・「シャープネス」をお好みの映像に調整して記憶させることができます。
音声も「低音」・「高音」・「左右」をお好みの音声に調整することができます。

サラウンド
臨場感あふれる躍動的な音声を楽しめます。

おやすみタイマー
おやすみ前にタイマーをセットしておくと、自動的にディスプレイを消すことができます。（10分刻み、最長120分まで）

Sビデオ/D4 端子
ビデオデッキやDVDプレーヤーなどのAV機器と接続して高品位な映像を楽しむことができます。

※本機はデジタルチューナーを主に使用する設定になっています。2006年12月末時点で、デジタル放送の人口カバー率は84%を予定されておりますが、地区によりカバーできていない地区があります。
詳しくはDpa（社団法人デジタル放送推進協会）ホームページ（http://www.dpa.or.jp/）を参照してください。

※アナログ放送からデジタル放送への移行について※

デジタル放送への移行スケジュール
地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されます。該当地域における受信可能エリアは、当初、限定されていますが、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに、ＢＳアナログテレビ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。

壁面への据え付けについて

- 本機を壁に据え付けるさいには、本機背面と壁との間に、少なくとも10cmの距離をとってください。10cm以下の場合、通風孔がふさがって本機の内部が過熱し、**故障の原因**になるおそれがあります。
- 本機を壁に据え付けるさいには、お買い上げ店に依頼して、市販の器具で据え付けてください。不完全または誤った据え付け方をすると、**けがや故障の原因**になるおそれがあります。

各部のなまえ

ご注意

本機は、スタンドの角度調整をすることができません。

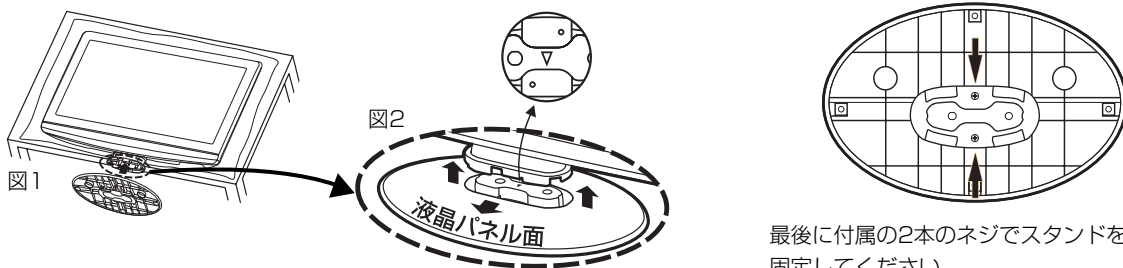
*チャンネル ∧/∨ ボタンと音量 +/− ボタンを使ってメニュー画面でお望みの設定にすることができます。

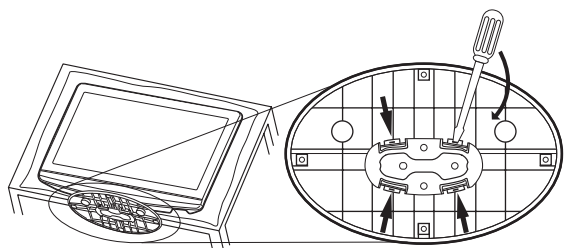
スタンドの取り付け方法

作業を行う前に:

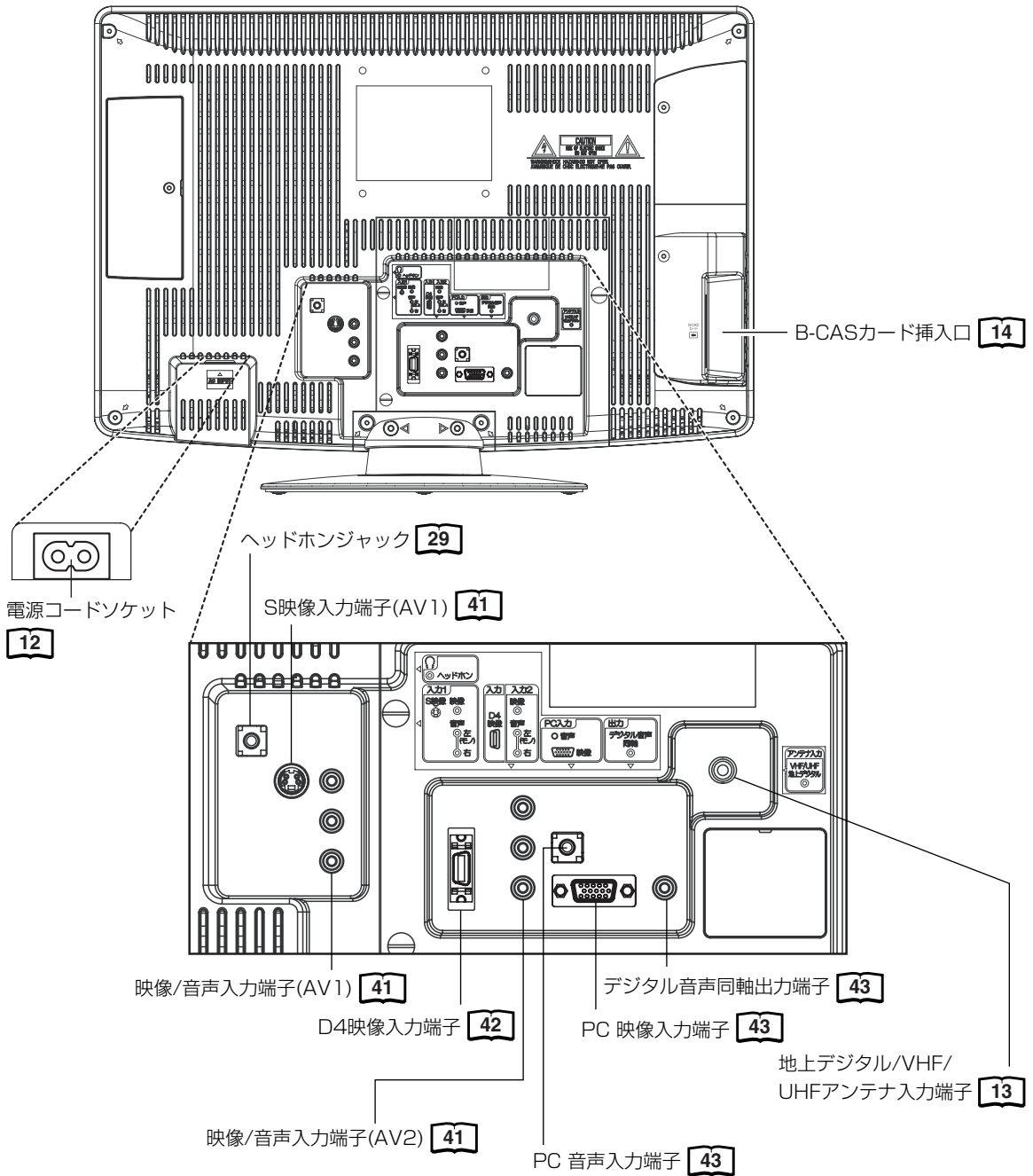
- 電源コードをコンセントから抜いてください。
- 柔らかい布を敷いた平坦な台の上にTV本体を置いてください。
- 液晶パネルに触れたり、押したりしないでください。圧力でガラスが破損する可能性があります。

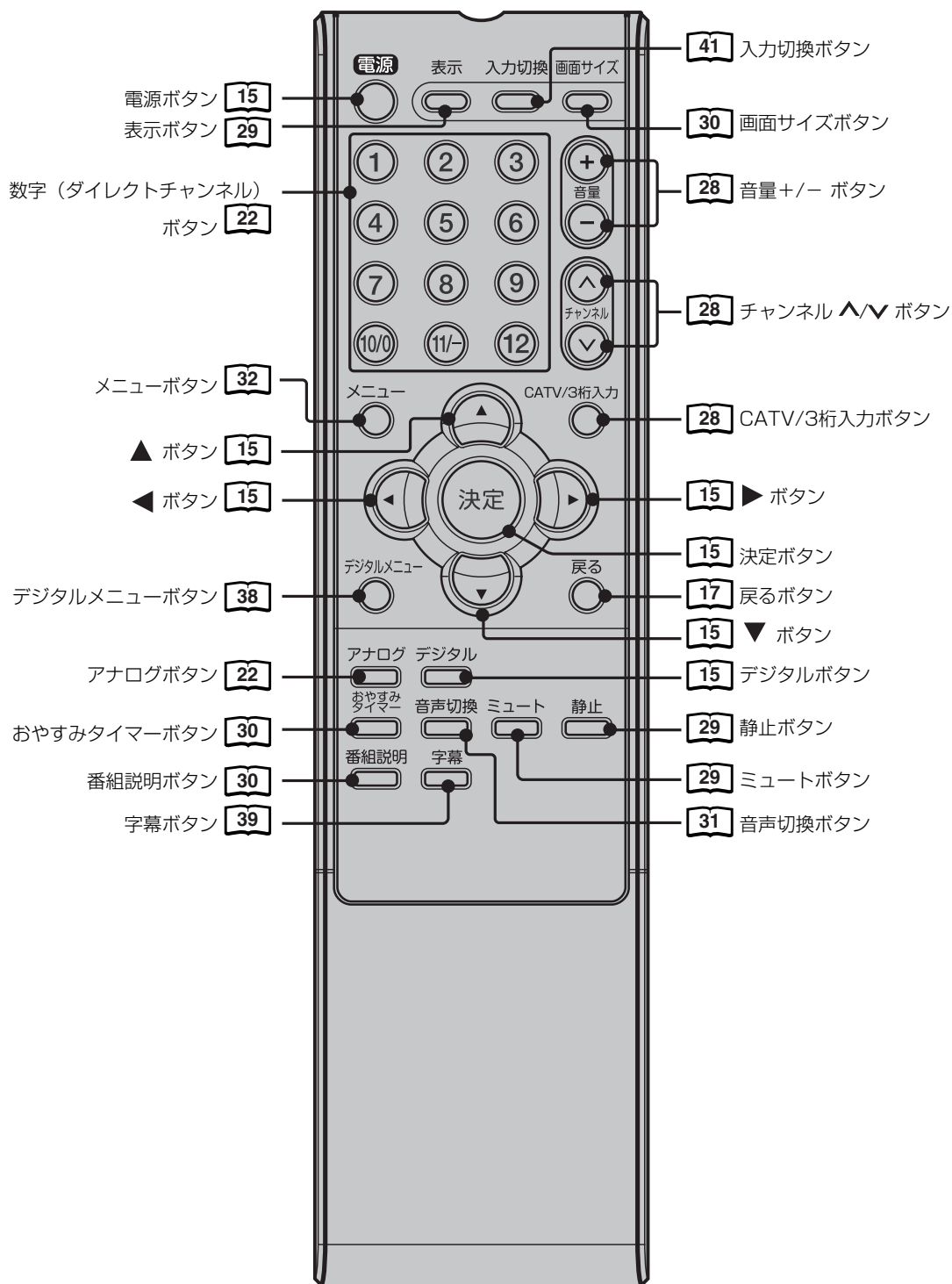
TV本体背面を台の上に置きます(図1)。
スタンドの▽マークの先端方向を液晶パネル面に合わせます(図2)。
本体を固定しながら、スタンドをゆっくりとカチッと音がするまで挿入してください。

最後に付属の2本のネジでスタンドを固定してください。

スタンドの取り外し方法

このTV本体を輸送する際には、スタンドを取り外してから、ご購入時の箱に入れてください。

まず底板のネジを外します。次にマイナスドライバー等を4箇所の固定溝口の内側(スタンド中心部の方向) に注意しながら差し込み、固定を解除していきます。
最後に、スタンドを取り外します。

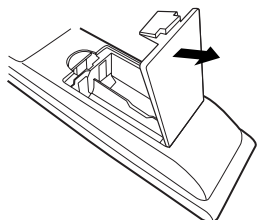
後面

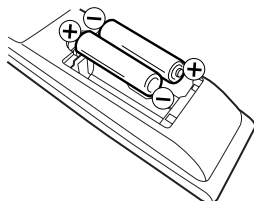
B-CASカード挿入口 14
ヘッドホンジャック 29
電源コードソケット 12
S映像入力端子(AV1) 41
映像/音声入力端子(AV1) 41
D4映像入力端子 42
映像/音声入力端子(AV2) 41
PC 音声入力端子 43
PC 映像入力端子 43
デジタル音声同軸出力端子 43
地上デジタル/VHF/
UHFアンテナ入力端子 13
ヘッドホン
入力1
S映像
映像
音声
左
(モノ)
右
入力
D4
映像
入力2
PC入力
音声
出力
デジタル音声
同軸
アンテナ入力
VHF/UHF
地上デジタル
CAUTION
AC INPUT

リモコンについて

＊ 内の数字は参照ページです。

リモコンに乾電池を入れる

単3乾電池を2本入れます。ショートを防ぐため、必ず電池のマイナス側を先に入れてください。

1 電池ぶたをはずす

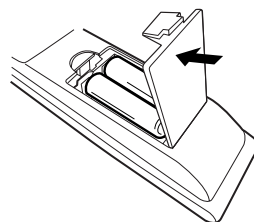
電池ぶたを押しながら矢印の方向に開きます。

2 乾電池を入れる

付属の乾電池を、リモコンの内部に書かれてある ⊕/⊖ の表示どおりに入れる。

ご注意

極性（⊕/⊖）を間違えないように入れてください。

3 電池ぶたを閉める

電池ぶたを矢印の方向に戻します。

ご注意

操作しにくくなったら2本とも電池を交換してください。

- 電池に表示されている注意事項をお読みください。
- 電池はふつうの使い方で6か月から1年間使えます。ただし、付属の電池は動作確認用ですので短くなる場合があります。操作しにくくなったら交換してください。

乾電池の取扱いについて

- 乾電池の使い方を誤りますと、液漏れや発熱、破裂するおそれがありますので次のことをお守りください。

⚠警告

- 火中へ投入、加熱、分解しない
- ショートさせない
- 充電しない

⚠注意

- （⊕/⊖）の表示どおりに入れる
- 指定以外の電池を使わない
- 種類の違う電池、または新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- 使い切った電池はすぐに取り出す。
- しばらく使わないときは取り出しておく

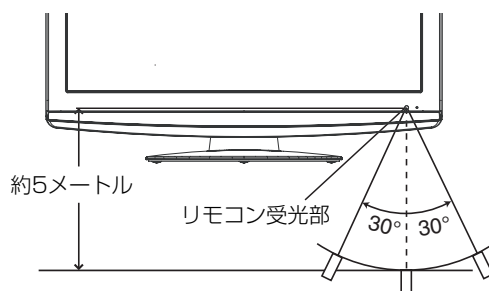
万一液漏れしたら

- 液をよくふき取る
- 液が皮膚や衣類に付着した場合は多量の水で洗い流す

ご注意

破棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

リモコンの正しい使いかた

- 本機前面のリモコン受光部の正面から約5メートル、左30度、右30度の範囲でお使いください。

正しく動作させるために

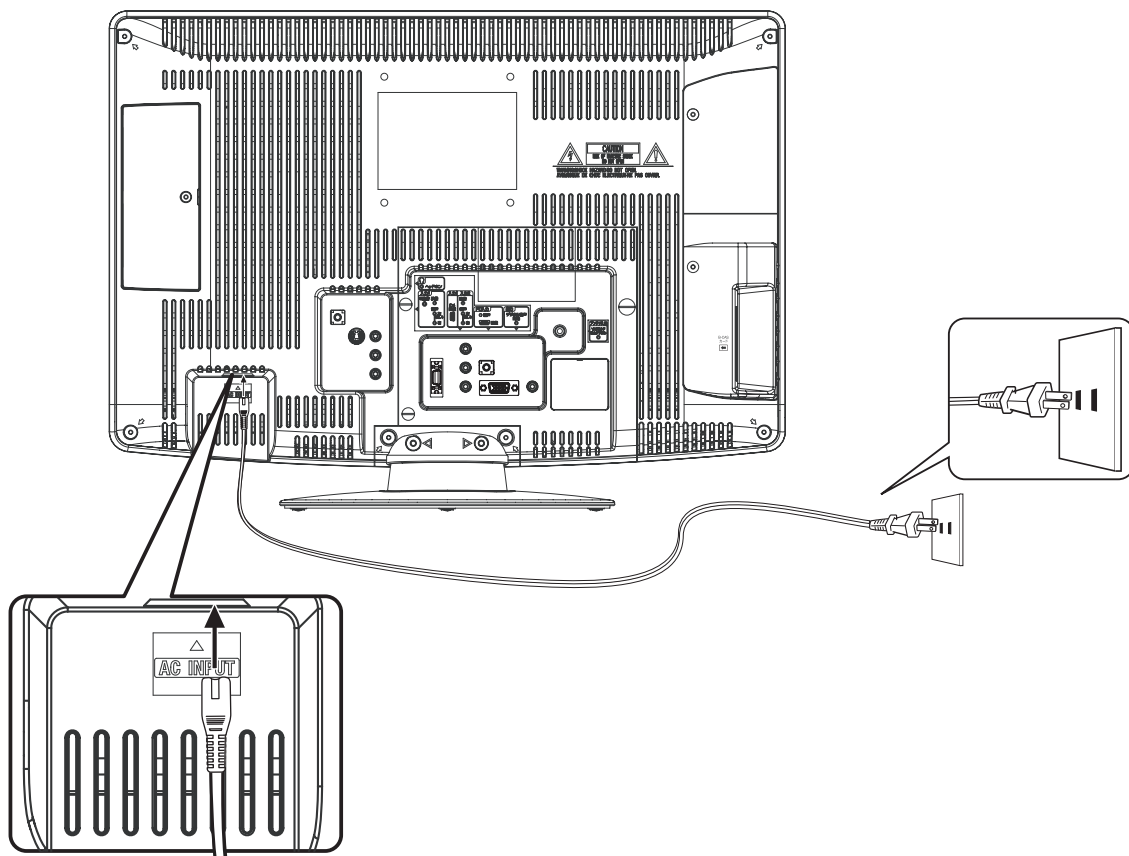
次のような場合、リモコンが誤作動したり、働かないことがあります。

- 本体とリモコンの間に障害物があるとき
- リモコン受光部に直射日光などの強い光があたったとき

はじめに

電源について

電源コードの接続について

1. 付属の電源コードのコネクター側を本機の後面下部にある電源ソケットに差し込む。
2. 電源プラグをコンセントに差し込む。

ご注意

本機側、コンセント側ともに、電源コードはしっかりと差し込んでください。

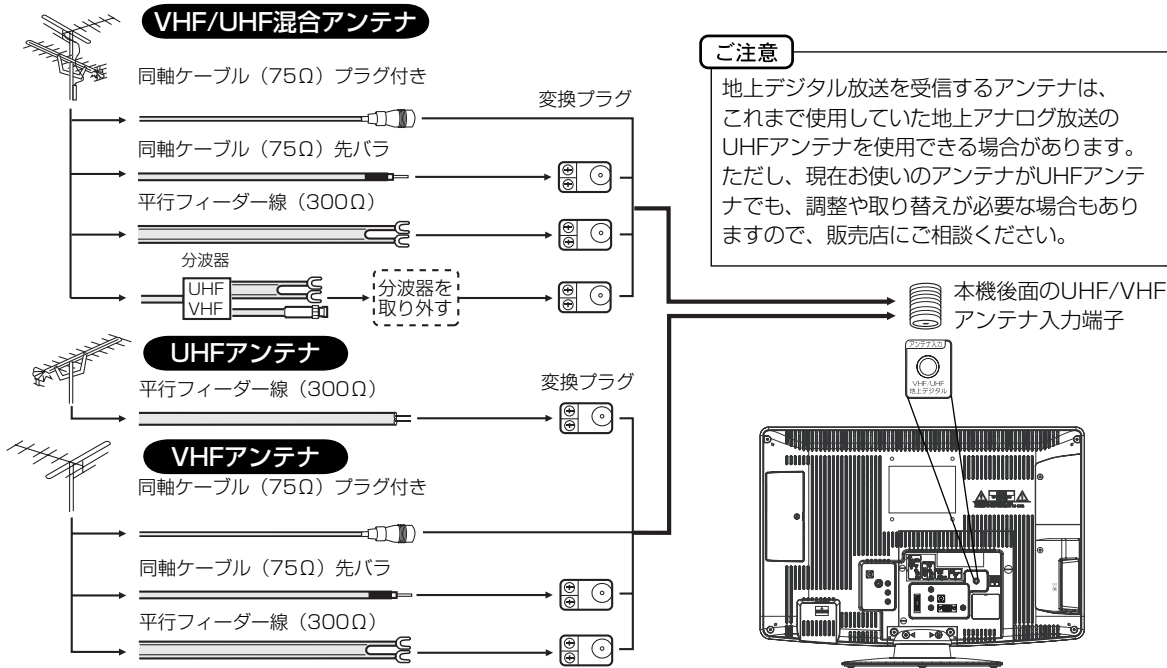
⚠ 警告	● 付属の電源コード以外のもので本機とコンセントをつなげないでください。火災、感電の原因となります。 ● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。

⚠ 注意	● 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のためかならず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

アンテナのつなぎかた

ご使用になるアンテナ線の種類により、接続の方法が異なります。アンテナ線の種類により市販品の変換プラグを取り付け本機と接続します。アンテナをつなぐときは、かならず電源を切ってください。

ご注意

地上デジタル放送を受信するアンテナは、これまで使用していた地上アナログ放送のUHFアンテナを使用できる場合があります。ただし、現在お使いのアンテナがUHFアンテナでも、調整や取り替えが必要な場合もありますので、販売店にご相談ください。

- フィーダー線付変換プラグなどが、すでにケーブルに付いている場合は、プラグを根元から取り外し、市販品の変換プラグを取り付けるか、販売店にご相談ください。

■同軸ケーブルの芯線の出しかた

3C-2V

❶カッターですじを入れて引き抜きます。
中のアミを切り落とさないように軽くすじを入れます。
❷アミを折り返します。
❸白のビニールにすじを入れて引き抜きます。
❹寸法をチェックしてください。
10 4 10 (mm)

5C-2V

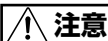
❶カッターですじを入れて引き抜きます。
❷アミを切ります。
❸白のビニールにすじを入れて引き抜きます。
❹寸法をチェックしてください。
10 4 10 (mm)

■変換プラグの取り付けかた

• 同軸ケーブルの場合

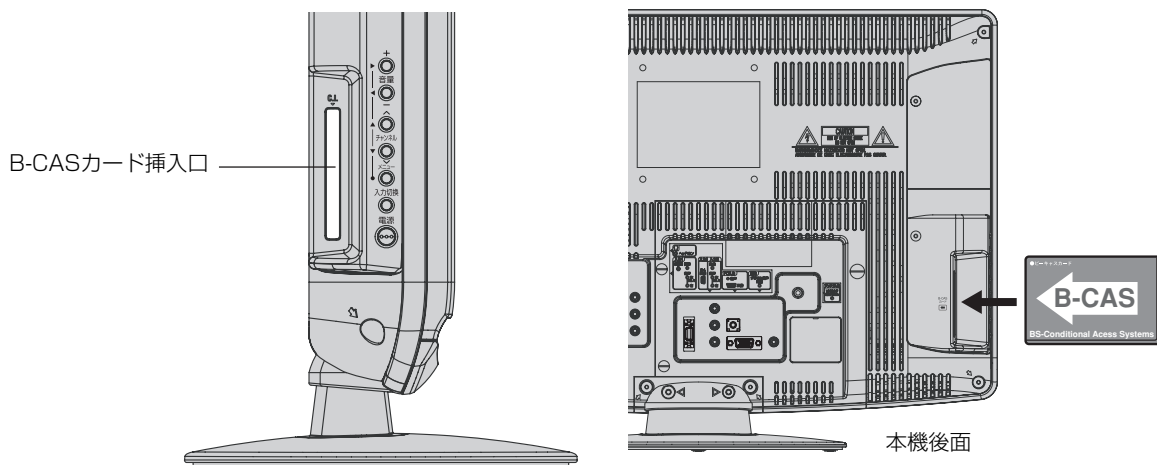
❶加工します。
(3C-2V) 10 4 10 (mm)
(5C-2V) 10 4 10 (mm)
❷カバーをはずします。
❸リード線をプラグピンからダミーピンに差し換える。
プラグピン
ダミーピン
❹同軸ケーブルを取り付けます。ペンチでしめ、カバーを閉めます。
ペンチで閉める。
芯線をはさみ巻つける。

• 平行フィーダーの場合

❶加工します。
15 20 (mm)
❷ネジをゆるめます。
❸しっかり締め付けます。

⚠ **注意** アンテナ工事は技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

準備

B-CASカードの挿入

デジタル放送を視聴する場合には、必ずB-CASカードを挿入してください。B-CASカードは、 放送局からのメッセージ管理等のほか、著作権保護の為のコピー制御にも利用されています。

B-CASカードの挿入時は、本機の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で挿入する。
絵表示が見える面を本機後面側にして、B-CASカード表面の矢印の向きを挿入口に合わせ、奥までゆっくりと押し込んでください。

B-CASカードを抜くとき

万一、抜く必要があるときは、本機の電源プラグを電源コンセントから抜いたあと、ゆっくりB-CASカードを抜いてください。
B-CASカードにはIC（集積回路）が組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

B-CASカードについて

本機に付属のB-CASカードには１枚ごとに違う番号（B-CASカード番号）が付与されています。
B-CASカード番号はお客様の有料放送契約内容などを管理するために使われている大切な番号です。
「(株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター」への問い合わせの際にも必要となります。

B-CASカードの登録

本機に付属のB-CASカードの台紙の一部がユーザー登録用はがきになっています。
台紙に記載の文面をよくお読みのうえ、はがきまたはWebによるユーザー登録をおすすめします。（登録は任意で無料です）

B-CASカード取り扱い上の留意点

・B-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。
・B-CASカードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
・B-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
・B-CASカードのＩＣ（集積回路）部には手をふれないでください。
・B-CASカードの分解加工は行わないでください。
・ご使用中にB-CAS カードの抜き差しはしないでください。デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。
・B-CASカード挿入口にB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となることがあります。
・裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとB-CASカードは機能しません。

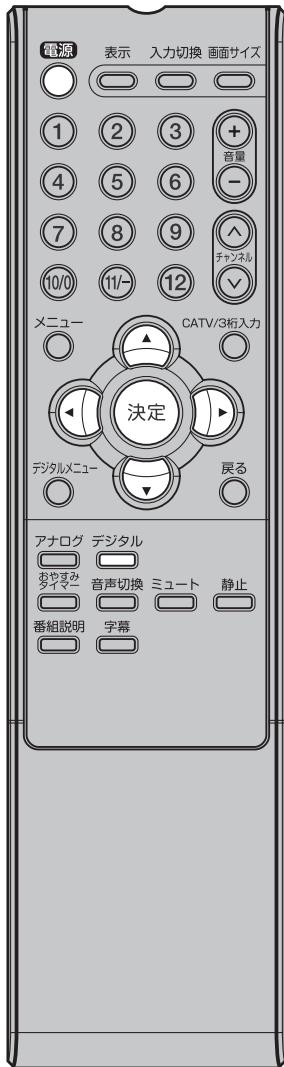
B-CASカードについてのお問い合わせは、こちらにお願いいたします。
（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
ＴＥＬ　0570ー000ー250

デジタル放送のはじめての設定のしかた

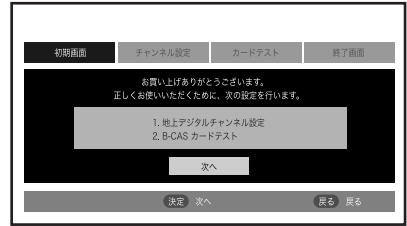
最初にデジタル放送に切り換えたときは、自動的に「はじめての設定」が表示されます。

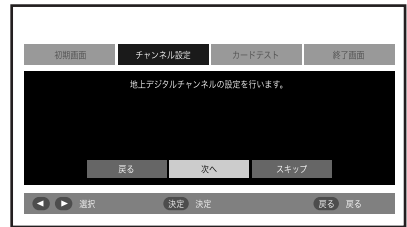
準備
- アンテナを正しく接続してください。
- B-CASカードを本機に挿入してください（14ページの「B-CASカードの挿入」を参照してください）。

たとえば、福井県に合わせる場合

1

電源で電源を入れる。
電源ランプが緑に点灯します。
画面に「しばらくお待ちください」と約15秒表示されます。

2

デジタル放送を選択するために**デジタル**を押す。
はじめての設定が表示されます。
画面の内容を確認したあと**決定**を押す。

3

画面の内容を確認したあと、◀/▶で「次へ」を選び、**決定**を押す。

4

▲/▼で「地方設定」を選び、**決定**を押す。

5

▲/▼でお住まいの地方を選び、**決定**を押す。

6

▲/▼で「地域設定」を選び、**決定**を押す。

7

▲/▼ でお住まいの地域を選び、**決定**を押す。

8

▲/▼/◀/▶ で「次へ」を選び、**決定**を押す。
スキャンが行われます。目盛りが右端まで到達したら、スキャン完了です。

スキャン完了後、自動的にスキャンされたチャンネルがリスト表示されます。

9

◀/▶ で「次へ」を選び**決定**を押す。

10

◀/▶ で「テスト」を選び、**決定**を押す。
B-CASカードのテストが行われます。

11

テストが終わったら◀/▶ で「次へ」を選び、**決定**を押す。

- 「NG」と表示された場合は、カードが正しく挿入されているか確認してください。

12

画面の内容を確認したあと、**決定**を押す。
これではじめての設定は終了です。
通常の画面に戻ります。

初期画面　チャンネル設定　カードテスト　終了画面

設定はこれで終わりです。
デジタル放送をおたのしみください。

終了

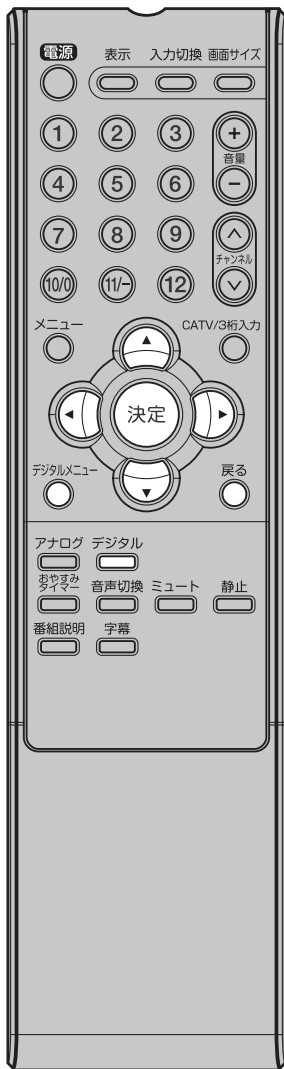
決定 終了　戻る 戻る

メモ

はじめての設定を再度行いたい場合は…

1. **デジタルメニュー**を押してメニュー画面を表示させる。
2. ◀/▶ を押して「チャンネル設定」を選ぶ。
3. ▲/▼ を押して「はじめての設定」を選び、**決定**を押す。

アンテナの設定のしかた

地上デジタル放送のアンテナの向きは、受信状態を見ながら調整する必要があります。

1 **デジタル**を押す。
地上デジタル放送モードに切り換わります。

2 **デジタルメニュー**を押す。
デジタルメニュー画面が表示されます。

3 **▲/▼**で「アンテナ設定」を選び、**決定**を押す。
アンテナ設定画面が表示されます。

4 **◀/▶**で受信できるチャンネルを選ぶ。

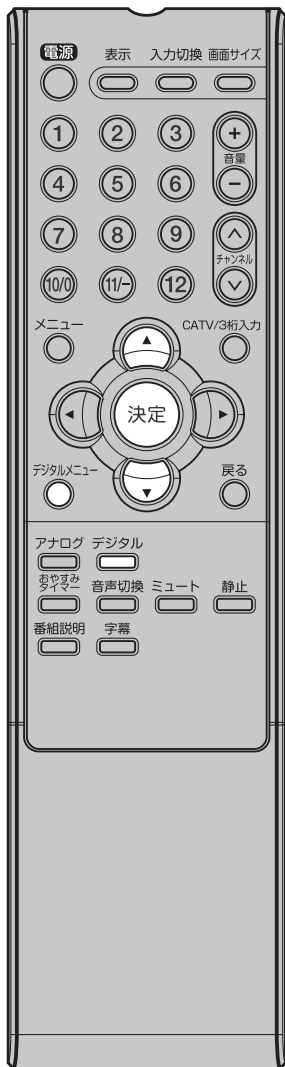
5 アンテナの調整をします。
アンテナレベルが一番大きくなるところにアンテナを調整してください。

- アンテナレベルの目安
  50以上の値を満たすよう調整してください。

6 調整が終わったら、**デジタルメニュー**を押して通常の画面に戻す。
（**戻る**をくり返し押しても通常の画面に戻ります。）

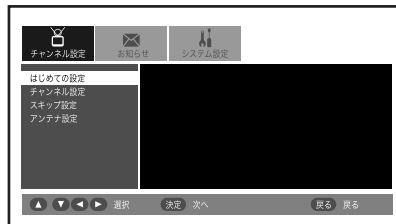
準備

デジタルチャンネルの合わせかた

デジタルチャンネルをスキャンすることができます。またデジタルチャンネルをお望みのリモコン番号に変更することができます。

地上デジタル放送の設定

たとえば、福井県に合わせる場合

1 **デジタル**を押す。
地上デジタル放送モードに切り換わります。

2 **デジタルメニュー**を押す。
デジタルメニュー画面が表示されます。

3 ▲/▼で「チャンネル設定」を選び、**決定**を押す。

4 ▲/▼で「地上デジタルスキャン」を選び、画面の内容を確認したあと、**決定**を押す。

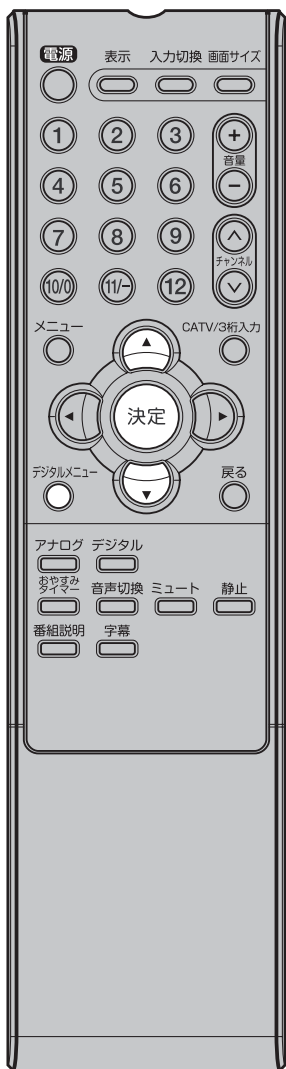
5 ▲/▼で「地方設定」を選び、**決定**を押す。

6 ▲/▼でお住まいの地方を選び、**決定**を押す。

7 ▲/▼で「地域設定」を選び、**決定**を押す。

8

▲/▼ でお住まいの地域を選び、**決定**を押す。

9

▲/▼ で「スキャン開始」を選び、**決定**を押す。
スキャンが行われます。目盛りが右端まで到達したら、スキャン完了です。

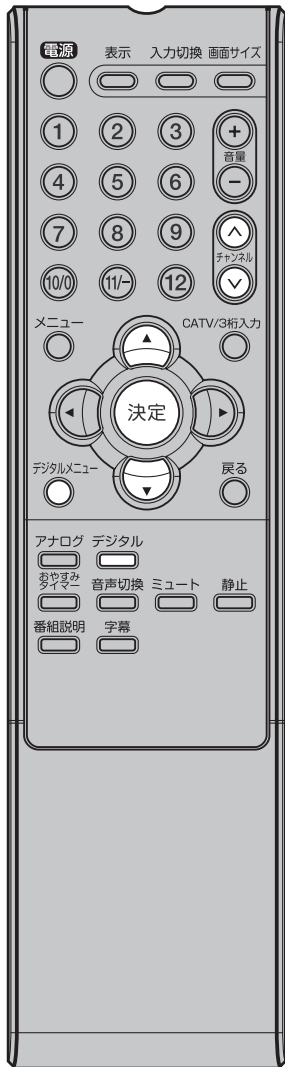
10

スキャン完了後、自動的にスキャンされたチャンネルがリスト表示されます。

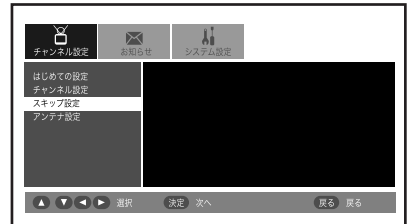
- チャンネルをお望みのリモコン番号に入れるには
  ▲/▼ でチャンネルを選び、**決定**を押します。チャンネルに ✓ マークがつきます。
  ▲/▼ で ✓ マークをつけたチャンネルと入れ替えたいチャンネルを選び、**決定**を押すと入れ替わります。
- チャンネルを削除するには
  ▲/▼ でチャンネルを選び、**決定**を押します。
  チャンネルに ✓ マークがつきます。
  ▲/▼ でリストの一番下の「―――削除」を選び、**決定**を押します。
  チャンネルがリストから削除されます。

11

設定が終わったら、**デジタルメニュー**を押して通常画面に戻す。

リモコンまたはテレビ本体のチャンネル∧/∨ボタンでの選局時にチャンネルをスキップすることができます。

デジタルチャンネルのスキップ

1 **デジタル**を押す。
地上デジタル放送モードに切り換わります。

2 **デジタルメニュー**を押す。
デジタルメニュー画面が表示されます。

3 ▲/▼で「スキップ設定」を選び、**決定**を押す。

4 ▲/▼でスキップしたいチャンネルを選び、**決定**を押す。
- 受信に戻すときは、もういちど決定を押してください。

5 設定が終わったら、**デジタルメニュー**を押して通常画面に戻す。

アナログチャンネルの合わせかた

地上アナログ放送の設定

1 お住まいの地域の地域番号を使って、受信チャンネルを自動的に設定することができます。**(オートチャンネル設定)**22ページをご覧ください。

2 エリア(地域)コード一覧の中にお住まいの地域がない時は、23～24ページをご覧ください。

3 「オートチャンネル設定一覧表」（46～49ページ）ではご希望のチャンネルが受信できないときや、お好みの順番で受信したいときは、25ページをご覧になり、１チャンネルずつマニュアルで設定してください。**(マニュアルチャンネル設定)**

4 CATVに加入されている方は26ページをご覧ください。

エリア(地域)コード一覧

県　名	都　市　名	地域番号
北海道	札　幌	01
	函　館	02
	旭　川	03
	帯　広	04
	釧　路	05
	苫小牧	06
	小　樽	07
	北　見	08
	室　蘭	09
	網　走	10
	稚　内	11
	名　寄	12
	根　室	13
青　森	青　森	14
	八　戸	15
	む　つ	16
岩　手	盛　岡	17
	釜　石	18
	二　戸	19
宮　城	仙　台	20
	石　巻	21
	気仙沼	22
秋　田	秋　田	23
	大　館	24
	大曲・横手	25
山　形	山　形	26
	鶴岡・酒田	27
	米　沢	28
	新　庄	29
福　島	福島・郡山	30
	いわき	31
	会津若松	32
茨　城	水　戸	33
	日　立	34
栃　木	宇都宮	35
	矢　板	36
群　馬	前　橋	37
	桐　生	38
埼　玉	さいたま	39
	熊谷・児玉	40
	秩　父	41
千　葉	千葉・船橋	42
	銚　子	43
東　京	23区	44
	八王子	45
	多　摩	46
神奈川	横浜・川崎	47
	横浜みなと	48
	平塚・茅ヶ崎	49
	小田原	50
	秦　野	51

県　名	都　市　名	地域番号
新　潟	新　潟	52
	上　越	53
富　山	富　山	54
	高　岡	55
石　川	金　沢	56
	七　尾	57
福　井	福　井	58
	敦　賀	59
山　梨	甲　府	60
長　野	長野(美ヶ原)	61
	長野(善光寺平)	62
	松　本	63
	飯　田	64
	岡谷・諏訪	65
岐　阜	岐　阜	66
	長　良	67
	高　山	68
	各務原	69
	中津川	70
静　岡	静　岡	71
	浜　松	72
	三島・沼津	73
	島　田	74
	富　士	75
	藤　枝	76
愛　知	名古屋	77
	豊　橋	78
	豊　田	79
三　重	津	80
	伊　勢	81
	名　張	82
滋　賀	大　津	83
	彦　根	84
京　都	京　都	85
	山　科	86
	福知山	87
	舞　鶴	88
大　阪	大　阪	89
兵　庫	神　戸	90
	姫　路	91
	明　石	92
	川　西	93
	灘	94
	長　田	95
	北淡・垂水	96
	三　木	97
奈　良	奈　良	98
	生　駒	99
	五　條	100
和歌山	和歌山	101
	海南・田辺	102
	新　宮	103

県　名	都　市　名	地域番号
鳥　取	鳥　取	104
	米　子	105
	倉　吉	106
島　根	松　江	107
	浜　田	108
岡　山	岡　山	109
	津　山	110
	笠　岡	111
広　島	広　島	112
	福　山	113
	呉	114
	尾　道	115
山　口	山　口	116
	下　関	117
	宇　部	118
	岩　国	119
	防　府	120
徳　島	徳　島	121
香　川	高　松	122
	丸　亀	123
愛　媛	松　山	124
	今　治	125
	新居浜	126
	宇和島	127
高　知	高　知	128
	中　村	129
福　岡	福　岡	130
	北九州	131
	久留米	132
	大牟田	133
	行　橋	134
佐　賀	佐　賀	135
	伊万里	136
長　崎	長　崎	137
	佐世保	138
	諫　早	139
熊　本	熊　本	140
	水　俣	141
大　分	大　分	142
	中　津	143
	佐　伯	144
宮　崎	宮　崎	145
	延　岡	146
鹿児島	鹿児島	147
	鹿　屋	148
	阿久根	149
沖　縄	那　覇	150

- オートチャンネル設定(メニュー「エリアコード設定」)はテレビの中継局には対応していません。中継局からの電波を受信したい場合は、マニュアルチャンネル設定(メニュー「チャンネル設定」)を行ってください。
- マンションなどの共聴システムなどからテレビを受信している場合、チャンネルの割り当てが変更されていることがあります。このような場合は、オートチャンネル設定(メニュー「エリアコード設定」)では設定できません。マニュアルチャンネル設定(メニュー「チャンネル設定」)で個別に設定してください。
- 自動的に設定される受信チャンネルは46～49ページの「オートチャンネル設定一覧表」をご覧ください。
新たに追加された放送局は、マニュアルで設定してください。
- エリアコードはその地域の目安です。お住まいの地域によっては受信できないチャンネルがあります。
このような場合はマニュアルでチャンネルを設定してください。

1 「エリア（地域）コード一覧」（21 ページ）にある地域の方と近郊の方

オートチャンネル設定
エリアコードを合せるだけで46〜49ページの「オートチャンネル設定一覧表」の受信チャンネルが自動的に設定されます。

＊**ポジションとは**
リモコンの**ダイレクトチャンネルボタン（1〜12）**の番号です。

＊**受信CHとは**
放送局が決めているチャンネル番号です。

ご注意
- UHF などの専用アンテナが取り付けられていない場合は、「オートチャンネル設定一覧表」に載っているUHF放送などのチャンネルは映りません。
- 約1分間、何も操作しないとテレビ画面に戻ります。もう一度最初からやり直してください。
- 地上デジタル放送開始にともない、放送局のチャンネルに変更があった場合は、「マニュアルチャンネル設定（25 ページ）」で、該当放送局の受信チャンネルを変更してください。

準備
- アンテナを正しく接続してください。
- リモコンまたは本体の**電源**を押して、電源を入れます。
- 電源ランプが緑に点灯します。
- リモコンの**アナログ**を押して、アナログ放送モードに切り換えます。

たとえば、京都のエリアコード85 に合わせる場合

1

1 メニューを押す。
メニュー画面が表示されます。

2 ◀ / ▶ で （セットアップ）を選ぶ。

2

▲ / ▼ で「エリアコード設定」を選ぶ。

3

◀ / ▶ を押す。
エリアコード画面が表示されます。

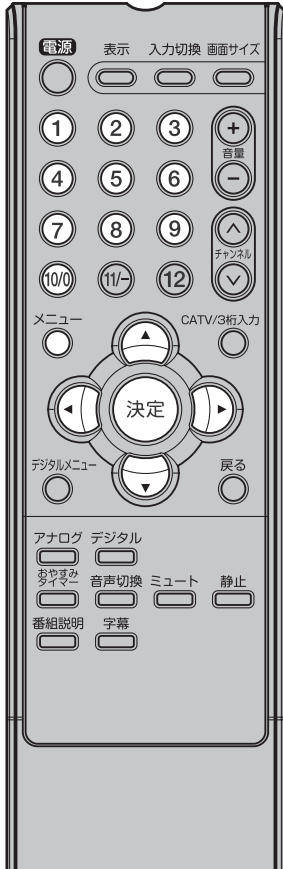
1 数字ボタン(0〜9)で記憶するエリアコード
(例では、「8」「5」を押して「85」) を入力する。
- 必要なチャンネルが設定されていない場合は、25ページをご覧ください。
- 間違えたときは、**数字ボタン（0〜9）**を押し直して、正しいエリアコードを選びます。

2 決定を押す。
エリアコード画面に受信できるチャンネルが表示されます。

4

メニューを押す。
通常の画面に戻ります。
ダイレクトチャンネルボタン（1〜12）を押して放送が受信されているか確認してください。

2 その他の地域にお住まいの方

「エリア(地域) コード一覧」（21 ページ）にない地域の方は、まず隣接地域のエリアコードに合わせます。次に違っている受信チャンネルを合せ直します。

たとえば熊本県阿蘇町の場合

● 隣接地域である熊本のエリアコード140 を合わせると、表1のように各ポジションに自動的に受信チャンネルが設定されます。阿蘇地区の受信チャンネルにテレビ画面で確認しながら変更します。

たとえば、熊本の地域コード140 で自動設定後、ポジション9 の受信チャンネル9 を58 に変える場合

1

1 **メニュー**を押す。
メニュー画面が表示されます。

2 ◀/▶ で （セットアップ）を選ぶ。

2

▲/▼ で「エリアコード設定」を選ぶ。

3

◀/▶ を押す。
エリアコード画面が表示されます。

4

1 **数字ボタン**
(0〜9)で記憶するエリアコード（例では、「1」「4」「10/0」）を押して「140」を入力する。

2 **決定**を押す。
エリアコード画面に受信できるチャンネルが表示されます。

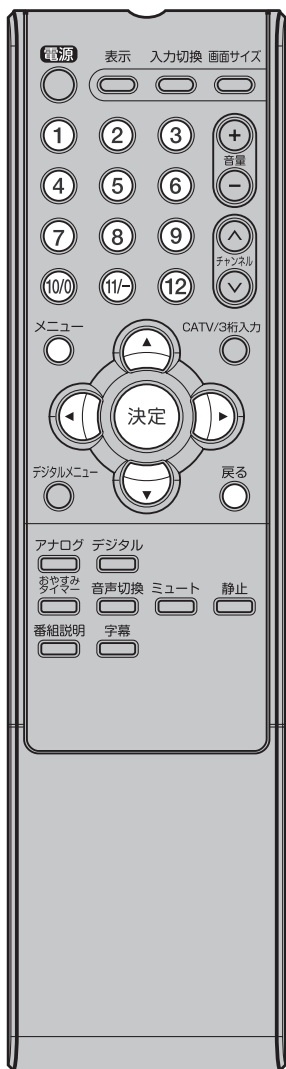
（表１）

■ 熊本のエリアコード140で設定されたチャンネル

チャンネルポジション	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
放送局		NHK教育	熊本朝日	熊本県民		テレビ熊本			NHK総合		熊本放送	
受信チャンネル		2	16	22		34			9		11	

■ 熊本県阿蘇町のチャンネル

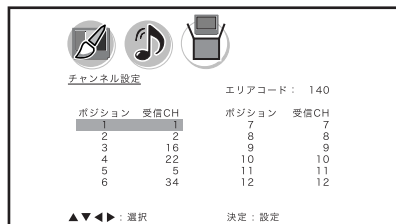
変更する受信チャンネル		53	28	30		60			58		17	

準備

5

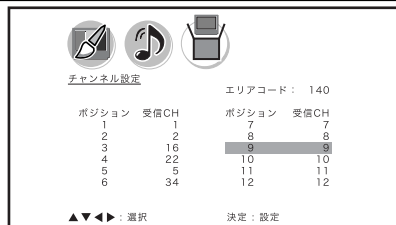
1 **戻る**を押す。
メニュー画面が表示されます。

2 ▲/▼ で「チャンネル設定」を選ぶ。

6

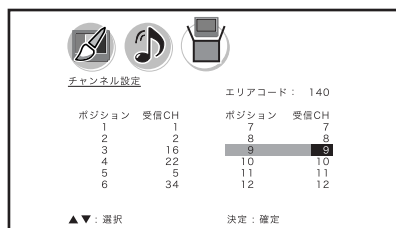
◀/▶ を押す。
チャンネル設定画面が表示されます。

7

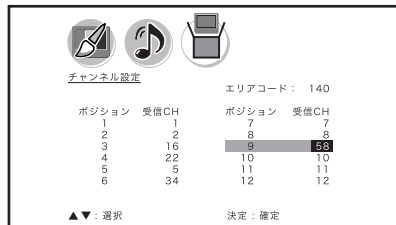
ダイレクトチャンネルボタン
(1〜12)を押す。
設定したいポジションに（例では、「9」）合わせる。

- ▲/▼ でも合わせられます。

8

決定を押す。
受信チャンネル部分が青で表示されます。

- 設定したいポジションチャンネルを変えたいときは、決定を押します。手順7 の状態に戻ります。

9

▲/▼ でチャンネルを（例では、「58」）合わせる。
サーチを開始します。受信状態の良いところで自動的に止まります。止まったチャンネルが受信したいチャンネルと違う場合は、もう一度 ▲/▼ を押します。

- サーチを手動で止める場合は（ 例では「58」を表示したときに） ▲/▼ を押します。

10

決定を押す。

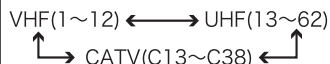
- 他のポジションの受信チャンネルを変える場合は手順7〜10 の操作を繰り返し行ってください。

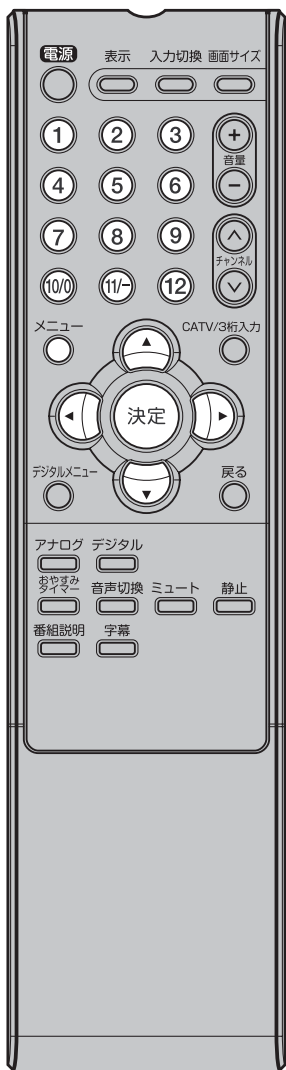
11

メニューを押す。
通常の画面に戻ります。
ダイレクトチャンネルボタン（1〜12）を押して放送が受信されているか確認してください。

ご注意

サーチを開始すると現在選局されているチャンネルから下記の順に変わります。

VHF(1〜12) ⟷ UHF(13〜62)
↑ → CATV(C13〜C38) ←

3 マニュアルチャンネル設定

UHF放送などの受信チャンネルを追加、変更したい方や、CATVにご加入の方は、テレビの画面を見ながら受信チャンネルを1 チャンネルずつ設定します。

たとえば、ポジション3 に受信チャンネル28 を追加設定する場合

1

1 メニューを押す。
メニュー画面が表示されます。

2 ◀ / ▶ で（セットアップ）を選ぶ。

2

▲ / ▼ で「チャンネル設定」を選ぶ。

3

◀ / ▶ を押す。
チャンネル設定画面が表示されます。

4

ダイレクトチャンネルボタン(1～12)を押す。
設定したいポジションに（例では、「3」）合わせる。
- ▲/▼ でも合わせられます。

5

決定を押す。
受信チャンネル部分が青で表示されます。
- 設定したいポジションチャンネルを変えたいときは、決定を押します。手順4 の状態に戻ります。

6

▲ / ▼ でチャンネルを（例では、「28」）合わせる。
サーチを開始します。受信状態の良いところで自動的に止まります。止まったチャンネルが受信したいチャンネルと違う場合は、もう一度 ▲/▼ を押します。
- サーチを手動で止める場合は（ 例では「28」を表示したときに） ▲/▼ を押します。

7

決定を押す。
- 他のチャンネルを追加（変更）する場合は手順4 ～ 7 の操作を繰り返し行ってください。

8

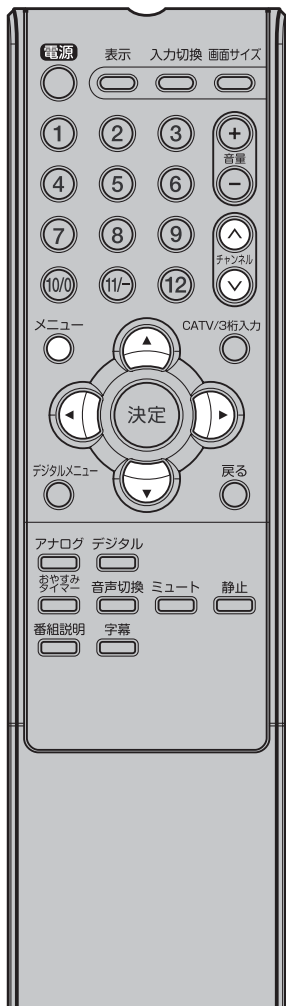
メニューを押す。
通常の画面に戻ります。
ダイレクトチャンネルボタン（1～12）を押して追加されたチャンネルが受信されているか確認してください。

メモ

マンションなどの共同受信システムの場合、画面の内容とチャンネル表示が一致しない場合があります。管理人または、管理会社にどんな放送が受信できるかお問い合わせください。

アナログチャンネルの合わせかた（つづき）

4 CATV 受信チャンネルの合わせ方

CATV（ケーブルテレビ）にご加入の方は必ず設定してください。

準備　● ケーブルテレビ会社との加入契約をしてください。

1

1 **メニュー**を押す。
メニュー画面が表示されます。

2 ◀/▶ で（セットアップ）を選ぶ。

2

▲/▼ で「CATV設定」を選ぶ。

3

◀/▶ を押す。
CATV設定画面が表示されます。

4

▼ を押す。
下記チャンネル順に自動的にサーチを始め、放送のあるチャンネルでカーソルは止まります。
チャンネル表示は点滅に変わります。
▲ を押すと逆の順序でサーチを始めます。

C13 ↔ C14 ↔ −−− ↔ C37 ↔ C38

- 他に設定したいチャンネルがあるときは、▲/▼ を繰り返し押してすべてのチャンネルを設定します。
- 放送のないチャンネルは自動的にスキップ（飛び越し）して、“ー ー ー”が表示されます。
- **CATV を受信されていない方は**
  CATV チャンネルを自動的にとばし（スキップする）、すべてのチャンネル表示を“ー ー ー” の表示に変えます。
- 受けたくない放送を受信した場合は、▲/▼ を押して受けたくないチャンネルを選びます。次に ◀ を押します。受信された放送はスキップされ表示は“ー ー ー” に変わります。

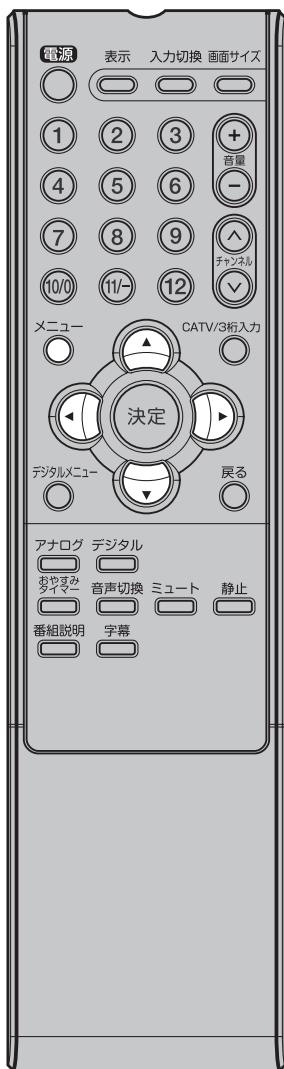
5

メニューを押す。
通常の画面に戻ります。

- **チャンネル**∧/∨を押して、設定したチャンネルが正しく受信されているか確認してください。（28 ページ「テレビを見る」参照）

- 地上デジタル放送は、ケーブルテレビでも受信・視聴できます。
  本機は、パススルー方式のすべての周波数に対応しています。
- CATV の受信は、サービスを行っている地域でのみ可能で、CATV 会社との加入契約が必要となります。また、スクランブルのかかった有料放送の視聴や録画にはホームターミナル（アダプター）が必要になります。詳しくは、お近くのCATV 会社にお問い合わせください。

チャンネル表示を変えたいとき

お買い上げの際は、リモコンの数字ボタンの番号がテレビ画面に表示されるように設定されています。これを受信する放送局のチャンネル番号に変えることができます。

1

1 **メニュー**を押す。
メニュー画面が表示されます。

2 ◀/▶ で （セットアップ）を選ぶ。

2

▲/▼ で「チャンネル表示」を選ぶ。

3

◀/▶ で「ポジション」から「受信CH」にする。

4

メニューを押す。
通常の画面に戻ります。

- チャンネルを切り換えるたびに、受信する放送局のチャンネル番号が表示されるようになります。

テレビを見る

準備ができたらすぐにテレビを見ることができます。リモコンで離れたところから操作できます。

1

電源で電源を入れる。

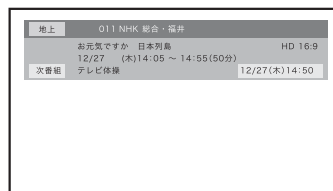
電源ランプが緑に点灯します。
画面に「しばらくお待ちください」と約15秒表示されます。
前に見ていたチャンネルが映ります。
押すごとに電源を入/ 切できます。

2

デジタルまたは**アナログ**で地上デジタル放送か地上アナログ放送を選ぶ。

3

ダイレクトチャンネルボタン（1〜12）でチャンネルを選ぶ。

地上デジタル放送受信時には画面上部に、地上アナログ放送受信時には画面右下に選んだチャンネルが表示されます。
チャンネル∧/∨でも選べます。

地上デジタル放送　　地上アナログ放送

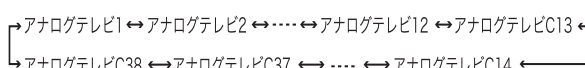
押すごとに、チャンネルが設定されている順に1つずつ変わります。
押し続けると連続して変わります。

●3桁チャンネルで選局するには（地上デジタル放送）
CATV/3桁入力を押して次に**数字ボタン（0〜9）**でチャンネル番号を押します。
例　011チャンネル　「0」、「1」、「1」を押す。

●枝番が付いているチャンネルを選局するには（地上デジタル放送）
CATV/3桁入力を押してはじめの3桁（主番号）を入力したあと、「11/−」を押し、残りの番号を入力することができます。
例　011-01チャンネル「0」、「1」、「1」「11/−」、「1」を押す。

●CATVを受信されている場合には
CATV/3桁入力を押して次に**数字ボタン（0〜9）**を押します。
例　C35チャンネル「3」、「5」を押す。

チャンネル∧/∨でも選べます。
押すごとに、下図のようにチャンネルが切り換わります。

→アナログテレビ1↔アナログテレビ2↔····↔アナログテレビ12↔アナログテレビC13←
→アナログテレビC38↔アナログテレビC37↔····↔アナログテレビC14←

CATV放送を受信されていない方は、CATV放送をスキップすることができます。（26ページ参照）
接続されている外部機器の映像を見るときは、**入力切換**を押して入力を選んでください。

4

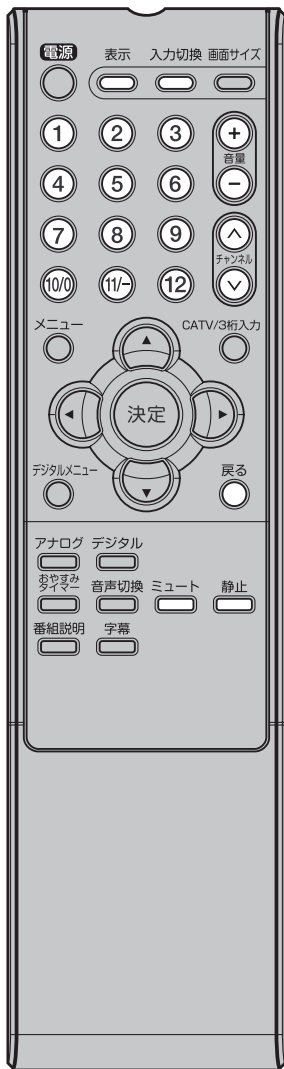
音量＋/−で音量を調節する。

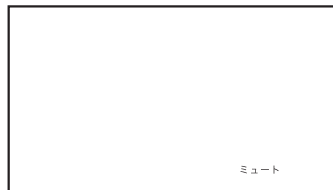
音量が数字と ▬▬ (バー) で画面に表示されます。
音量＋を押すごとに音量が大きくなり、**音量−**を押すごとに音量が小さくなります。

ご注意

- リモコンの**電源**で電源を切っても、約0.6ワットの電気を使っています。長期間の外出やご旅行のときなどは、安全と節電のために電源プラグを抜いてください。
- テレビ放送が終了したあと、電源を入れたままにしておいても、約15分で電源を自動的に切る機能があります（36ページ「オートシャットオフ」を参照してください）。

ヘッドホンでお聞きになるとき

市販のヘッドホンを背面のヘッドホン端子に差し込みますと、スピーカーの音が消え、ヘッドホンで聞くことができます。
イヤホンでもお聞きになれますが、音声多重放送の場合、主音声が優先され聞こえます。

音だけを消したいとき

ミュートを押す。
もう一度押すと元の音量に戻ります。
音量＋/－を押しても音が出ます。
こんなときに便利です。
- 電話がかかってきたとき
- 来客のとき

画面 を一時的にとめたいとき

静止を押す。
表示中の映像が停止します。
静止をもう一度押すか、**戻る**を押すと通常の映像に戻ります。

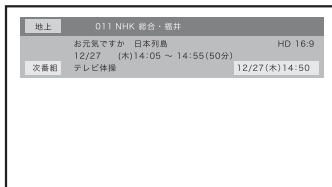
- 静止中も映像は進んでいきますので、静止から通常表示に戻した場合、その間の映像はスキップされます。
- 映像を停止させた後、30分間何も操作しないと通常の映像に戻ります。
- **チャンネル∧/∨**、**ダイレクトチャンネルボタン**、**入力切換**でチャンネルを切り換えると通常の映像に戻ります。
- 静止中は、機能の一部（画面サイズ、映像モードなど）が使用できなくなります。

チャンネル番号を表示したいとき

表示を押す。
- 地上デジタル放送のとき、チャンネル番号とチャンネル名、番組名と開始・終了時刻、日付、時間が表示されます。もう一度押すと表示は消えます。
  表示される時間は約10秒となり、常時表示することはできません。またチャンネル切替時にも自動で表示されますが、この場合は信号処理などの関係で表示時間が短くなることがあります。
  地上アナログテレビ放送のとき、チャンネル番号と受信状態（ステレオ、音声多重）、画面サイズが表示されます。もう一度押すと表示が消えます。

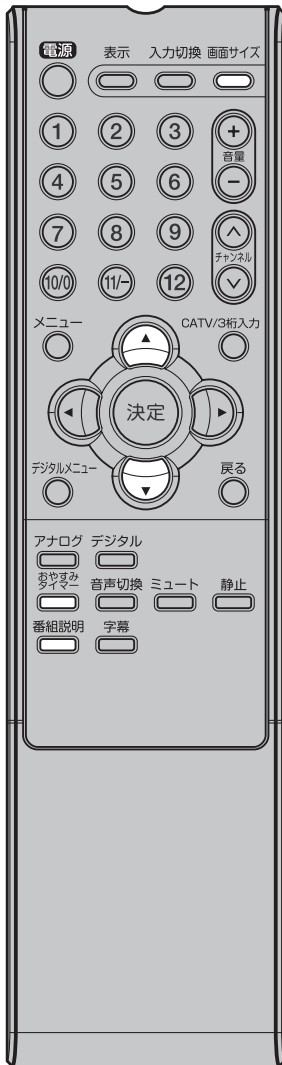
地上デジタル放送

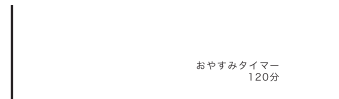
地上アナログ放送

- 入力1画面のときは「ビデオ1」、入力2画面のときは「ビデオ2」、D4映像入力画面のときは「D端子」、PC入力画面のときは「PC」がそれぞれ表示されます。
- 表示される時計表示は、10秒程度遅れる場合があります。（遅れは、通算されることはありません。）

ご注意

ヘッドホンでお聞きになるときは、大音量で長時間、聞きすぎると聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

テレビを見ながらおやすみになるとき

おやすみタイマーを設定しておくと、設定した時間になると自動的に電源を切ることができます。

おやすみタイマーを押して何分後に消すかを選ぶ。

押すごとに0分 → 10分 →・・・・
100分→ 110分 → 120分 の順で電源を切る時間を表示します。
約4秒後に表示は消えます。

おやすみタイマー
120分

おやすみタイマーを取り消すには

おやすみタイマーを繰り返し押して「おやすみタイマー0分」を選びます。

残りの時間を確かめるには

おやすみタイマーを1 回押します。
テレビが消えるまでの残りの時間を表示します。

時間を変えるには

おやすみタイマーを繰り返し押して時間を変えます。

地上デジタル放送の番組情報を見る

地上デジタル放送の番組を視聴中に**番組説明**を押す。
番組詳細情報が表示されます。
▲/▼ で画面に入りきらない情報を表示することができます。
番組詳細情報を閉じたいときは、**番組説明**を押します。

この部分が「SD」(一般画質放送)となっている時には、メニュー表示、チャンネル表示のサイズがHD(ハイビジョン放送)の時と比較して大きくなります。
また画面サイズの変更によってもその大きさは変わりますが、画質に合わせた調整の為、異常ではありません。

画面サイズを変える

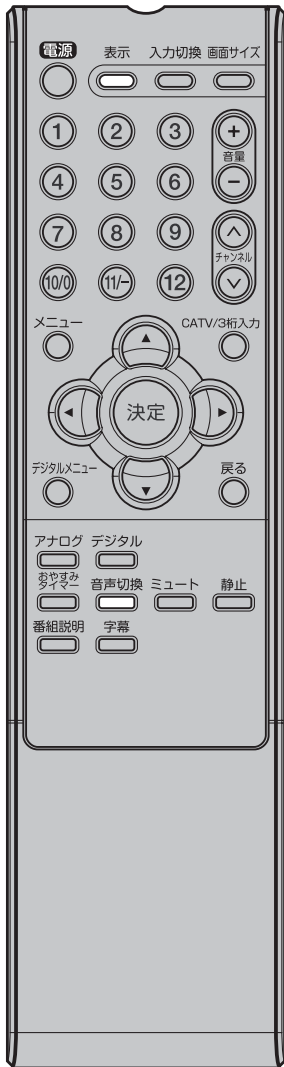
画面のアスペクト比を変更します。
画面サイズを繰り返し押すか、▲/▼ でお好みの比率を選びます。

ステレオ、音声多重放送について

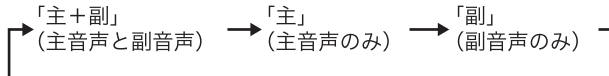
地上デジタル放送を受信しているとき

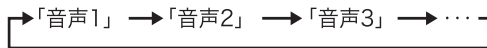
音声切換を押すと、今見ている放送の音声モードが画面に表示されます。

例）

非音声多重放送受信時	**音声多重放送受信時**	**3つ以上の音声を含む放送受信時**
ステレオ 日本語	主＋副 日本語　英語	ステレオ　音声3 フランス語

- 複数の音声がある場合は**音声切換**を押して音声を切換えることができます。

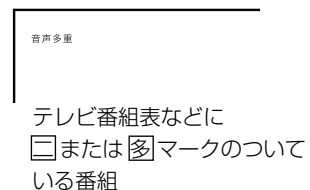
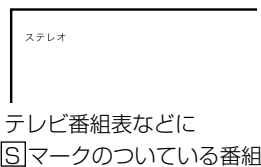
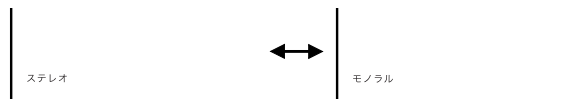
音声多重放送を受信しているとき

→「主＋副」（主音声と副音声）→「主」（主音声のみ）→「副」（副音声のみ）

3つ以上の音声を含む放送を受信しているとき

→「音声1」→「音声2」→「音声3」→・・・

- デジタル放送では、ステレオをモノラルに切り換えることはできません。
- 受信する放送によって音声表示が異なる場合があります。

地上アナログ放送を受信しているとき

チャンネルを変えた時、または**表示**を押すと、今見ている放送の音声モードが画面に表示されます。

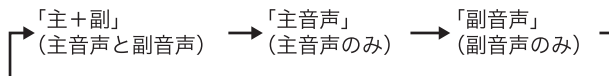
ステレオ放送受信時	音声多重放送受信時
ステレオ	音声多重
テレビ番組表などに Sマークのついている番組	テレビ番組表などに 二または多マークのついている番組

- 表示は4秒後に消えます。
- ステレオ放送受信しているときなどは**音声切換**を押して音声を切換えることができます。

押すたびに、ステレオとモノラルに切換わります。

音声切換について

- ステレオ放送に雑音が入るときなどにお使いください
- **音声多重放送を受信しているとき**

  音声切換を押します。

  押すたびに次のように切換えます。

  →「主＋副」（主音声と副音声）→「主音声」（主音声のみ）→「副音声」（副音声のみ）

- **モノラル放送を受信しているとき**

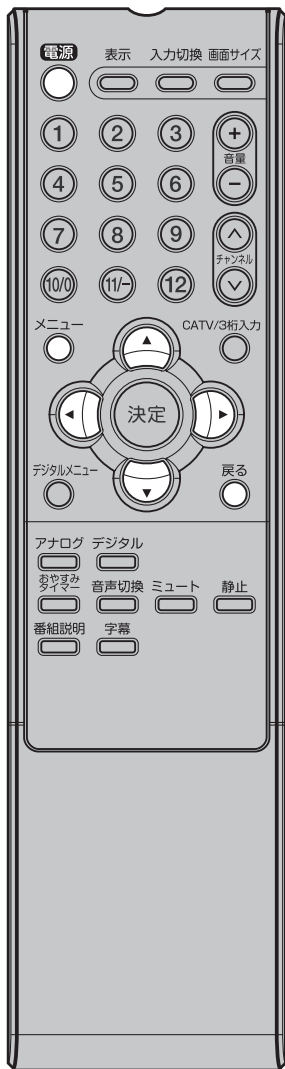
  音声切換を押すと「モノラル」の表示が約4秒間表示されます。

メモ

音声多重放送とは

たとえば、洋画番組の二重音声放送時、日本語に吹き替えられる音声を主音声、外国語のままの音声を副音声といいます。放送によっては、主音声が外国語の場合もあります。

メニュー画面の操作方法

ここでは本機の設定をするための基本的な操作方法を説明します。各項目の詳細については次ページ以降をご覧ください。

- リモコンまたは本体の**電源**を押して、電源を入れます。
- 電源ランプが緑に点灯します。

たとえば、映像モードの設定をする。

1

1 **メニュー**を押す。
メニュー画面が表示されます。

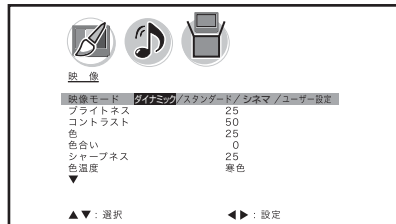
2 ◀/▶ で （映像）を選ぶ。

2

▲/▼ で「映像モード」を選ぶ。

3

◀/▶ でお好みの設定を選ぶ。

4

メニューを押す。
通常の画面に戻ります。

メモ

- メニューを表示して何も操作をしないと、約1分で表示が消えます。
- **戻る**を押すと、それぞれひとつ前のメニュー画面に戻ります。

メニュー項目の詳細

映像

映像モード

本機にはあらかじめシーンに合わせた映像設定が用意されています。
お好みに合わせて「ダイナミック」「スタンダード」「シネマ」「ユーザー設定」を切り換えてお楽しみになれます。

ダイナミック	輝度が強調され、よりダイナミックな映像が楽しめます
スタンダード	標準の設定です
シネマ	映画などに適しています
ユーザー設定	お好みの調整内容を記憶できます

- お買い上げ時は、「ダイナミック」に設定されています。
- 映像モードを選択すると、自動的に「ブライトネス」「コントラスト」「色」「色合い」「シャープネス」と「色温度」設定の項目も変更されます。

ブライトネス/コントラスト/色/色合い/シャープネス

ふだんは調整する必要はありません。お部屋の明るさやご覧になる番組に合わせて「ブライトネス」「コントラスト」「色」「色合い」「シャープネス」をお好みの映像に調整できます。

調整項目	◀ボタン	▶ボタン
ブライトネス	暗くなる	明るくなる
コントラスト	淡くなる	濃くなる
色	薄くなる	濃くなる
色合い	赤っぽくなる	緑っぽくなる
シャープネス	柔らかくなる	くっきりする

- 映像調整を行うと、自動的に映像モードは「ユーザー設定」として記憶されます。
- 調整画面は、約60秒間で消えます。途中で調整画面が消えたときは、もう一度最初からやり直してください。
- 「コントラスト」はお買い上げ時に最高値（50）に設定されています。

色温度

本機にはあらかじめシーンに合わせた色温度（色合い）設定が用意されています。
お好みに合わせて「寒色」「標準」「暖色」を切り換えてお楽しみになれます。

寒色	寒色が強調され、よりダイナミックな映像が楽しめます
標準	標準の設定です
暖色	映画などに適しています

- 色温度を変更すると、自動的に映像モードは「ユーザー設定」として記憶されます。

バックライト調整

明るい室内で視聴の際、見にくく感じる時などに調整します。
◀/▶ で明るさを調節します。

リセット

「映像」内のサブメニューで設定した項目を、お買い上げ時の設定にもどします。
◀/▶ を押すと、「リセット」と表示され、通常画面に戻ります。

- 映像モードの「ユーザー設定」で設定された内容は、「色温度」以外はリセットされません。

音声

低音/高音/左右
お買い上げ時は、標準の音声に調整しています。普段は調整する必要はありません。
お好みに合わせて「低音」「高音」「左右」を調整できます。

調整項目	◀ボタン	▶ボタン
低音	軽減される	強調される
高音	軽減される	強調される
左右	左のスピーカーの音が大きくなる	右のスピーカーの音が大きくなる

サラウンド
外部スピーカーを接続しなくても、本体スピーカーのみでサラウンド音場を再現することができます。この機能のオン/オフの設定をします。

リセット
「音声」内のサブメニューで設定した項目を、お買い上げ時の設定にもどします。
◀/▶ を押すと、「リセット」と表示され、通常画面に戻ります。

セットアップ

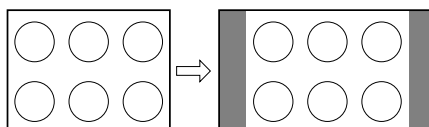
エリアコード設定/チャンネル設定/CATV設定/チャンネル表示
21～27ページをご覧ください。

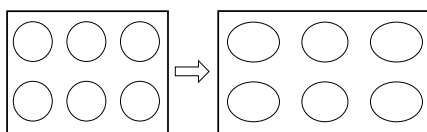
画面サイズ
デジタル放送モードでは、さまざまな映像サイズ(ノーマル、シネマワイド、フル)で楽しむことができます。
デジタル放送モードでは、選べる画面サイズが変わります。

SD 放送(一般画質放送 : 480i 映像信号、480p 映像信号)
- ノーマル
- シネマワイド
- フル

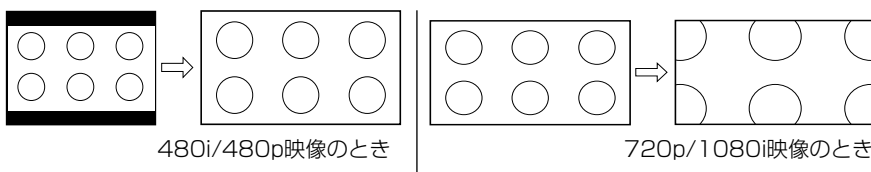
HD 放送(ハイビジョン放送 : 720p 映像信号、1080i 映像信号)
- ノーマル
- フル

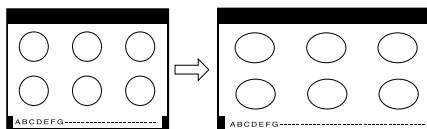
アナログ放送モードでは、選べる画面サイズが変わります。
- 4 : 3
- シネマワイド1
- シネマワイド2
- シネマワイド3
- フル

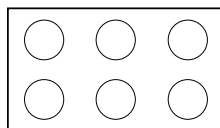
ノーマル(アナログ放送では4 : 3)
多くの場合、左右に黒色の帯のある標準的な4 : 3映像として表示されます。

シネマワイド(アナログ放送では シネマワイド1)

4：3映像を16：9映像にするため、映像の中央部はほとんど変わりませんが、左端と右端の映像は横長に引きのばされます。
映像の上端と下端が表示されない可能性があります。

シネマワイド2

縦横ともに同じ比率で引きのばされるので、全体の映像は均一に拡大されます（元の比率が保持されます）。
映像の上端と下端が表示されない可能性があります。表示されない部分を見るためには、次のページで説明する画面スクロール機能を利用してください。

480i/480p映像のとき　　720p/1080i映像のとき

シネマワイド3

映像の幅を広げるため、水平方向に映像は拡大されます。しかし、上端と下端が少し引きのばされるだけです。
映像の上端と下端が表示されない可能性があります。表示されない部分（字幕など）を見るためには、次のページで説明する画面スクロール機能を利用してください。

フル

映像を最大サイズで表示します。

- 画面サイズメニューは、**画面サイズ**を押すことによっても表示することができます。
- デジタル放送では、シネマワイド2とシネマワイド3は選ぶことができません。
- D4映像端子の入力信号が720p映像信号、1080i映像信号の場合、シネマワイド2とフルを選ぶことができます。
- PC モードではノーマル（4：3）とフルを選ぶことができます。（WXGAはフルのみ）
- 映像信号については、接続する機器等の取扱説明書をご覧ください。

画面スクロール

シネマワイド2サイズとシネマワイド3サイズでは映像を上下に調整することができます。
▲/▼ で位置を変更します。▲ を押すと画面は上に移動し、▼ を押すと画面は下に移動します。

- 調整できる範囲は次の通りです
  480i/480p 映像信号
  シネマワイド1 サイズ：調整できません
  シネマワイド2 サイズ：−10 から+10 まで
  シネマワイド3 サイズ：−10 から+10 まで
- 地上デジタル放送モードでは設定できません。

画面サイズ自動検出

「オン」に設定すると480i映像信号の外部入力（ビデオ1、ビデオ2、D端子）時に自動で画面サイズを検出します。「オフ」に設定するとアナログ放送モードでの「画面サイズ」で設定したサイズで表示されます。

シネマモード

お買い上げ時は、「フィルム」に設定されています。ふだんは変更する必要はありません。
※映像がなめらかに動かない場合は、「ビデオ」に設定すると改善される場合があります。

オートシャットオフ

オートシャットオフ機能は、放送終了後または外部入力の無入力状態の15分後に自動的にテレビの電源を切る機能です。この機能のオン/ オフの設定をします。

クイック起動

クイック起動を「オン」に設定すると、電源を入れてから映像が出るまでの時間が短縮されます。

- 設定が「オン」であっても電源プラグをコンセントから抜くと初回は通常起動となります。
- 設定を「オン」にすると年間消費電力が増加します。

省エネ設定

本機の画面の明るさを抑えることで、消費電力を通常より減らすことができます。
この機能のオン（オン1/オン2）/オフの設定をします。

PC設定（PCモード時のみ選択できます）

PC モードでの本機の性能を最適化するため、多くの調整可能な映像調整項目と音声調整項目があります。
PC との接続については、43 ページの「テレビとパソコンを接続する」を参照してください。

映像調整メニュー

ブライトネス：
明るさを調整します。
コントラスト：
コントラストを調整します。
水平調整：
水平方向の映像の位置を調整します。
垂直調整：
垂直方向の映像の位置を調整します。
フェイズ調整：
画質を最適化するためにPCの周波数を60ヘルツにセットしてから調整します。
クロック調整：
画面の垂直方向に走る縞を最小化します。
赤/緑/青：
色温度を調整します。
WXGA入力:
WXGA信号を入力する場合、オンにします。
バックライト調整:
画面をお好みの明るさに調整します。

音声調整メニュー

低音：
低音を調整します。
高音：
高音を調整します。
左右：
左右のバランスを調整します。
サラウンド：
サラウンドの「オン」「オフ」を調整します。

リセット

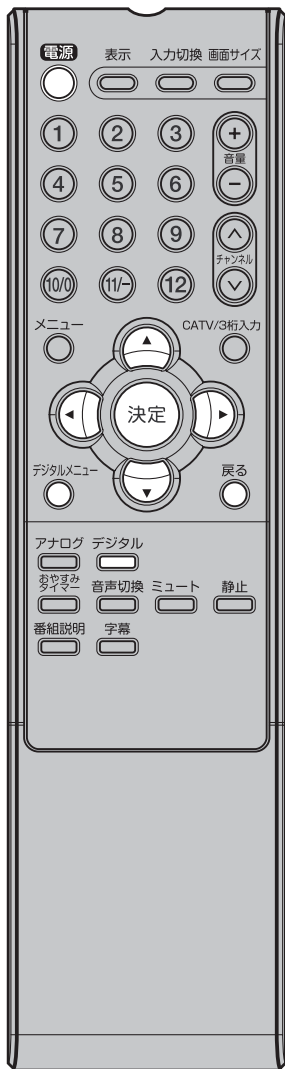
「PC設定」内のサブメニューで設定した項目を、お買い上げ時の設定にもどします。

- お買い上げ時の設定は、以下の通りです。

映像調整メニュー		音声調整メニュー	
ブライトネス	中央（25）	低音	中央（25）
コントラスト	中央（25）	高音	中央（25）
赤	中央（25）	左右	中央（0）
緑	中央（25）		
青	中央（25）		

- PC モニターメニューでの調整は、PC モード以外では適用されません。
- WXGA 入力がオフの状態でWXGA 信号を入力した場合（また逆にWXGA 入力がオンの状態でWXGA以外の信号を入力した場合）、正常に表示されない場合があります。

デジタルメニュー画面の操作方法

ここでは本機のデジタル放送関連の設定をするための基本的な操作方法を説明します。
各項目の詳細については次ページ以降をご覧ください。

準備
- リモコンまたは本体の**電源**を押して、電源を入れます。
- 電源ランプが緑に点灯します。

たとえば、字幕の設定をする。

1 **デジタル**を押す。
地上デジタル放送モードに切り換わります。

2 **デジタルメニュー**を押す。
デジタルメニュー画面が表示されます。

3
1. ◀/▶ で「システム設定」を選ぶ。
2. ▲/▼ で「字幕設定」を選び、**決定**を押す。

4
1. ▲/▼ で「字幕」を選び、**決定**を押す。
2. ▲/▼ で「オン」または「オフ」を選び、**決定**を押す。

5
1. ▲/▼ で「字幕言語」を選び、**決定**を押す。
2. ▲/▼ で言語を選び、**決定**を押す。

6 設定が終わったら、**デジタルメニュー**を押して通常画面に戻す。

メモ
- **戻る**を押すと、それぞれひとつ前のメニュー画面に戻ります。

デジタルメニュー項目の詳細

チャンネル設定

15～20ページをご覧ください。

お知らせ

受信メール

「メール」はファームウェアの更新があるときなどにお客様へ送られるメッセージです。
内容を必ず確認してください。
▲/▼ で読みたいメールを選択し、**決定**を押すと内容が表示されます。
メールは10 通まで記録されます。10 通を超えた場合、古いメールから削除されていきます。

B-CASカード

本機に挿入されているB-CASカードの情報と、カードのテストをおこなうことができます。
決定を押すとテストが開始されます。テスト後「OK」と表示されれば、カードに問題はありません。もし、「NG」と表示された場合は、カードが正しく挿入されているかを確認してください。

ソフトウェア情報

ファームウェア（内部のソフトウェア）情報を表示します。

字幕設定

字幕

字幕放送時の字幕のオン/オフの設定をおこなうことができます。「オン」に設定すると、字幕放送視聴時に字幕が表示されます。

- 放送によっては、「オン」に設定しても字幕が表示されない場合があります。
- デジタル放送時のみ字幕は表示されます。
- 字幕とは、デジタル放送の字幕放送の映画やドラマ等で表示される字幕のことです。
- 字幕の設定は、**字幕**を押すことによっても変更することができます。

→オフ→日本語→英語

ご注意
- 字幕について、放送信号や処理の速度によって、多少の遅れや早く消えたりすることがありますが、故障ではありません。

字幕言語

字幕放送時の字幕の言語の設定をおこなうことができます。「日本語」または「英語」が選択できます。

文字スーパー

デジタル放送視聴時の文字スーパーの表示/非表示の設定をおこなうことができます。
「オン」に設定すると、文字スーパーが表示されます。

- 文字スーパーとは、ニュース速報などの文字情報のことです。

文字スーパー言語

文字スーパーの言語の設定をおこなうことができます。「日本語」または「英語」が選択できます。

デジタル音声設定

デジタル音声出力
本機からデジタル音声出力をする場合のデジタル信号の種類を選択します。

AAC　AAC対応のデジタルアンプ等を接続している場合は、こちらを選択してください。
デジタル放送の音声の場合は、AACでそのまま出力されます。
PCM　PCMのみ対応のデジタルアンプ等を接続している場合は、こちらを選択してください。
デジタル放送の音声のも、PCMに変換されて出力されます。

お使いのデジタルアンプ等の外部機器に合わせて設定を変更してください。
デジタルアンプ等の外部機器の詳細については各外部機器の取扱説明書をご覧ください。

ダウンロード設定

ダウンロード
本機は、地上デジタル放送を利用して、ファームウェア（内部のソフトウェア）を書き換えて、最新の状態にすることができます。

自動　本機がスタンバイ状態の時に、自動的に更新します。
手動　自動的に更新しません。メールにて通知がありますので、必要に応じて手動で更新します。

- ファームウェアのダウンロード/更新中は、電源をコンセントから抜かないでください。また、BCASカードを抜かないでください。製品が故障する原因となります。
- ファームウェアのダウンロード/更新中は、リモコン操作できません。
- ファームウェアのダウンロードには、約10 ～ 20 分かかります。
- ファームウェアのダウンロード予約がある場合に電源を切ると、スタンバイ状態（クイック起動を「オン」にして電源を切った状態）になります。

設定の初期化

設定の初期化
本機のさまざまな設定を工場出荷時の状態に戻します。
「お客様が操作したデジタルメニューの設定をすべて初期化します。
続けますか？」というメッセージが表示されます。**決定**で設定を初期化します。
初期化しない場合は、**戻る**を押します。

メールの初期化
「メールを初期化します。続けますか？」というメッセージが表示されます。**決定**を押すと受信したメールがすべて削除されます。
初期化しない場合は、**戻る**を押します。

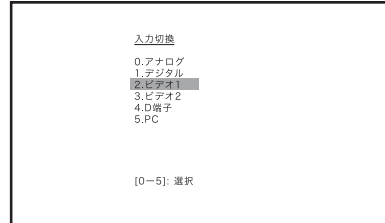
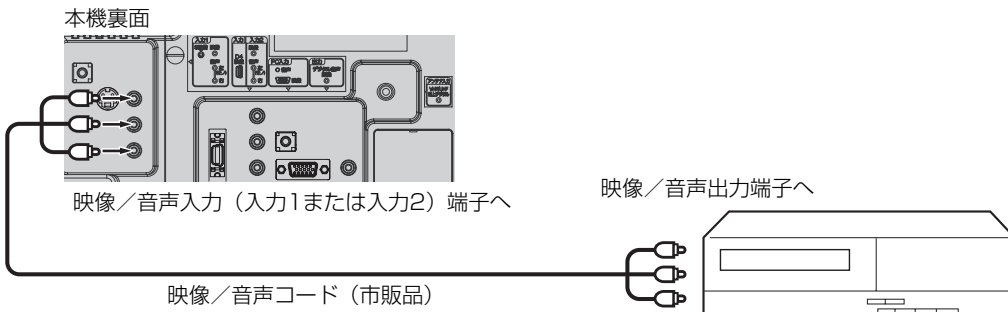
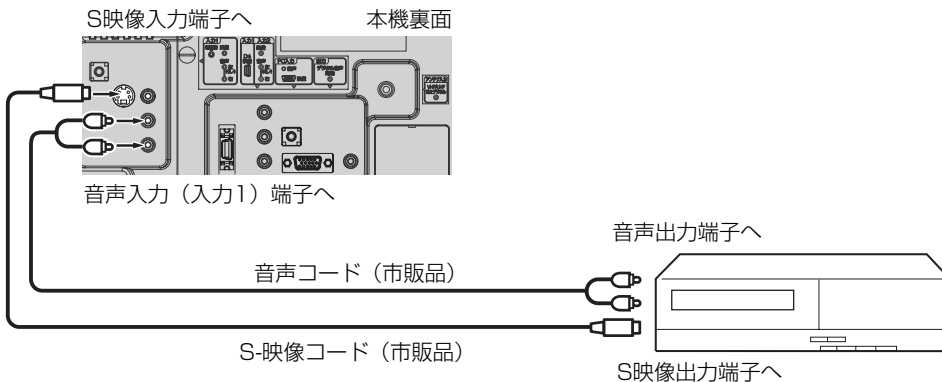
外部機器との接続

接続する前に

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 接続の際は、必ず本機及び接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源を入れたままの接続は、スピーカーを傷めるおそれがあります。
- 接続するプラグは、各機器にしっかり差し込んでください。差し込みが不完全ですと、雑音が発生する恐れがあります。
- 本機からは地上デジタル放送の音声信号しか出力いたしません。外部機器の音声を外部スピーカーなどで出力したい場合には、外部機器から直接スピーカー側に接続していただく必要があります。

接続した機器の映像を見るには

1 **入力切換**を押す。

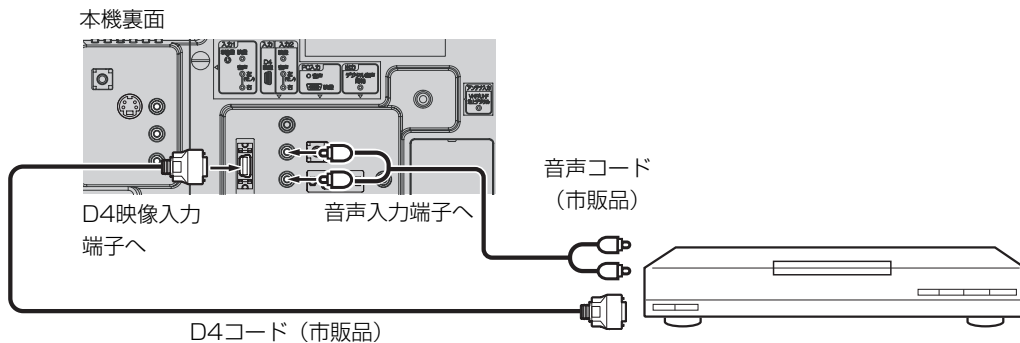
2 **▲/▼** または**番号ボタン**（0−5）で入力信号を選ぶ。

テレビとビデオデッキを接続する

テレビとS-映像端子付きビデオデッキ／DVDプレイヤー／衛星放送チューナーを接続する

- S-映像端子と映像端子が同時に入力されたときは、S-映像端子が優先されます。

ご注意

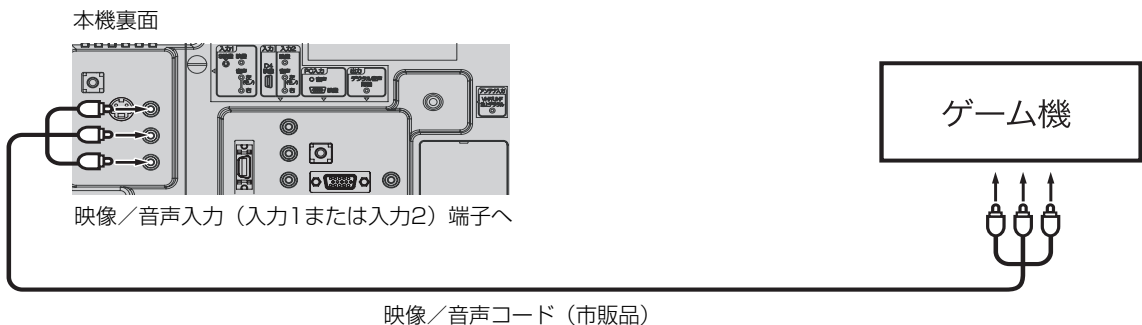
- 外部機器との接続時に入出力端子を間違えて接続すると、故障の原因になりますのでご注意ください。
- 映像端子と音声端子を逆に接続しますと、映像も音声も出ません。映像、音声それぞれの端子が正しく接続されていることを確認してください。
- ステレオ機器と接続する場合、音声端子をL（左）、R（右）どちらに接続するのか、詳しくは接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

外部機器との接続　（つづき）

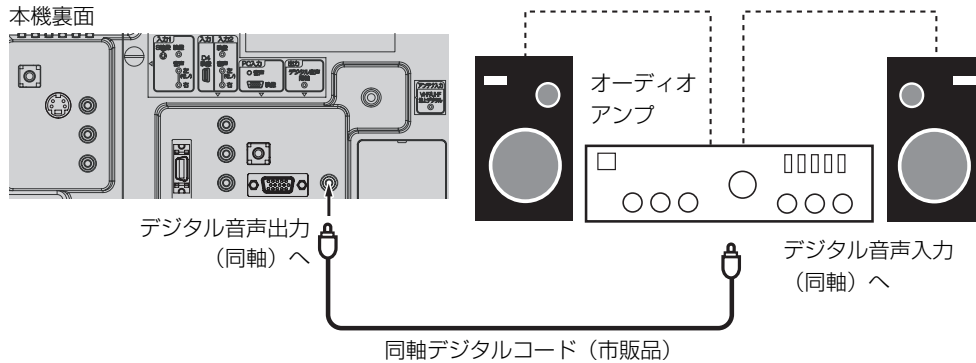
テレビとD端子付きDVDプレーヤー／BS・110度CSデジタルチューナー／ケーブル放送チューナーを接続する

D4入力端子は、コンポーネント映像信号の480i、1080iとプログレッシブ映像信号の480p、720p信号に対応した信号が入力できます。

テレビとビデオカメラを接続する

テレビとテレビゲーム機を接続する

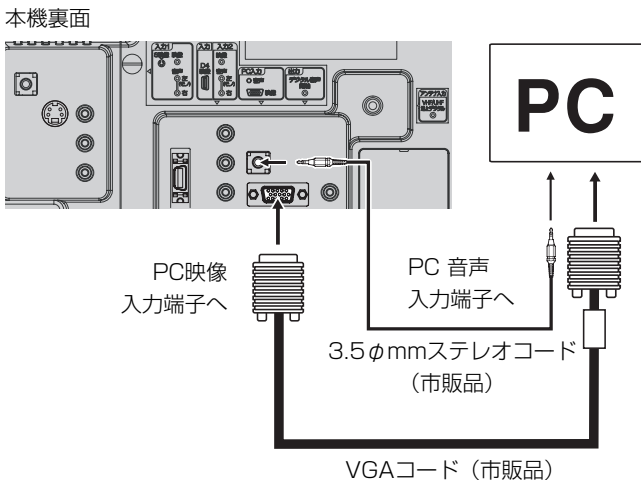
本機は数多くのテレビゲーム機と接続できます。しかし、テレビゲーム機から出力されるさまざまな信号や今後の変化を考慮すると、下に例示した接続例にすべてのテレビゲーム機が含まれるわけではありません。本機とテレビゲーム機の取扱説明書をよくお読みください。

テレビとオーディオシステムを接続する

MPEG-2 AAC対応のAVアンプと接続すると、デジタル放送の5.1chサラウンドを楽しむことができます。

- お買い上げ時のデジタル音声出力のフォーマットは「PCM」に設定されています。5.1chサラウンドを楽しむときには、設定を変更してください。（40ページの「デジタル音声設定」を参照してください）
- 本機からは地上デジタル放送の音声信号しか出力いたしません。外部機器の音声を外部スピーカーなどで出力したい場合には、外部機器から直接スピーカー側に接続していただく必要があります。

- デジタル音声出力は、デジタル放送のみ出力できます（地上アナログ放送などは出力できません）。
- 著作権が保護されている番組では、デジタル音声出力からの信号を録音できない場合があります。

テレビとパソコンを接続する

テレビをパソコンに接続する前に、パソコンの解像度と垂直同期周波数（60Hz）を調整してください。VGAケーブルの片方をテレビのPC入力（映像）に、そしてもう片方をパソコンのビデオカードに接続してください。マルチメディア対応のパソコンの場合、本機のPC入力（音声）とパソコンのAUDIO OUTジャックを3.5φmmステレオコードで接続してください。

入力切換を押してPCモードを選択（41ページを参照）し、パソコンの電源を入れてください。テレビをパソコンのモニターとして使用できます。

モニターディスプレイモード

モード	解像度	垂直同期周波数
VGA	640×480	60Hz
SVGA	800×600	60Hz
XGA	1024×768	60Hz
WXGA	1280×720	60Hz
WXGA	1280×768	60Hz
WXGA	1360×768	60Hz

ご注意

- パソコンと接続する場合、本機とパソコンの取扱説明書をよくお読みください。
- モニターディスプレイモードは、パソコンの設定や性能により表示できる解像度が異なります。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご確認ください。

地上デジタル放送チャンネル一覧表

都道府県	チャンネルポジション	放送局
北海道(帯広)	3	NHK総合·帯広
	2	NHK教育·帯広
	1	HBC帯広
	5	STV帯広
	6	HTB帯広
	8	UHB帯広
	7	TVH帯広
北海道(釧路)	3	NHK総合·釧路
	2	NHK教育·釧路
	1	HBC釧路
	5	STV釧路
	6	HTB釧路
	8	UHB釧路
	7	TVH釧路
北海道(北見)	3	NHK総合·北見
	2	NHK教育·北見
	1	HBC北見
	5	STV北見
	6	HTB北見
	8	UHB北見
	7	TVH北見
北海道(旭川)	3	NHK総合·旭川
	2	NHK教育·旭川
	1	HBC旭川
	5	STV旭川
	6	HTB旭川
	8	UHB旭川
	7	TVH旭川
北海道(札幌)	3	NHK総合·札幌
	2	NHK教育·札幌
	1	HBC札幌
	5	STV札幌
	6	HTB札幌
	8	UHB札幌
	7	TVH札幌
北海道(函館)	3	NHK総合·函館
	2	NHK教育·函館
	1	HBC函館
	5	STV函館
	6	HTB函館
	8	UHB函館
	7	TVH函館
北海道(室蘭)	3	NHK総合·室蘭
	2	NHK教育·室蘭
	1	HBC室蘭
	5	STV室蘭
	6	HTB室蘭
	8	UHB室蘭
	7	TVH室蘭
青森	3	NHK総合·青森
	2	NHK教育·青森
	1	RAB青森放送
	6	ATV青森テレビ
	5	青森朝日放送
岩手	1	NHK総合·盛岡
	2	NHK教育·盛岡
	6	IBCテレビ
	4	テレビ岩手
	8	めんこいテレビ
	5	岩手朝日テレビ

都道府県	チャンネルポジション	放送局
宮城	3	NHK総合·仙台
	2	NHK教育·仙台
	1	TBCテレビ
	8	仙台放送
	4	ミヤギテレビ
	5	KHB東日本放送
秋田	1	NHK総合·秋田
	2	NHK教育·秋田
	4	ABS秋田放送
	8	AKT秋田テレビ
	5	AAB秋田朝日放送
山形	1	NHK総合·山形
	2	NHK教育·山形
	4	YBC山形放送
	5	YTS山形テレビ
	6	テレビユー山形
	8	さくらんぼテレビ
福島	1	NHK総合·福島
	2	NHK教育·福島
	8	福島テレビ
	4	福島中央テレビ
	5	KFB福島放送
	6	テレビユー福島
茨城	1	NHK総合·水戸
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	12	放送大学
栃木	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	とちぎテレビ
	12	放送大学
群馬	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	群馬テレビ
	12	放送大学
埼玉	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	テレ玉
	12	放送大学

都道府県	チャンネルポジション	放送局
千葉	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	チバテレビ
	12	放送大学
東京	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	9	東京MXテレビ
	12	放送大学
神奈川	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·東京
	4	日本テレビ
	6	TBS
	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京
	3	tvk
	12	放送大学
新潟	1	NHK総合·新潟
	2	NHK教育·新潟
	6	BSN
	8	NST
	4	TeNYテレビ新潟
	5	新潟テレビ21
富山	3	NHK総合·富山
	2	NHK教育·富山
	1	KNB北日本放送
	8	BBT富山テレビ
	6	チューリップテレビ
石川	1	NHK総合·金沢
	2	NHK教育·金沢
	4	テレビ金沢
	5	北陸朝日放送
	6	MRO
	8	石川テレビ
福井	1	NHK総合·福井
	2	NHK教育·福井
	7	FBCテレビ
	8	福井テレビ
山梨	1	NHK総合·甲府
	2	NHK教育·甲府
	4	YBS山梨放送
	6	UTY
長野	1	NHK総合·長野
	2	NHK教育·長野
	4	テレビ信州
	5	abn長野朝日放送
	6	SBC信越放送
	8	NBS長野放送

都道府県	チャンネルポジション	放送局
静岡	1	NHK総合·静岡
静岡	2	NHK教育·静岡
静岡	6	SBS
静岡	8	テレビ静岡
静岡	4	静岡第一テレビ
静岡	5	静岡朝日テレビ
岐阜	3	NHK総合·岐阜
岐阜	2	NHK教育·名古屋
岐阜	1	東海テレビ
岐阜	5	CBC
岐阜	6	メ〜テレ
岐阜	4	中京テレビ
岐阜	8	岐阜テレビ
愛知	3	NHK総合·名古屋
愛知	2	NHK教育·名古屋
愛知	1	東海テレビ
愛知	5	CBC
愛知	6	メ〜テレ
愛知	4	中京テレビ
愛知	10	テレビ愛知
三重	3	NHK総合·津
三重	2	NHK教育·名古屋
三重	1	東海テレビ
三重	5	CBC
三重	6	メ〜テレ
三重	4	中京テレビ
三重	7	三重テレビ
滋賀	1	NHK総合·大津
滋賀	2	NHK教育·大阪
滋賀	4	MBS毎日放送
滋賀	6	ABCテレビ
滋賀	8	関西テレビ
滋賀	10	よみうりテレビ
滋賀	3	BBCびわ湖放送
京都	1	NHK総合·京都
京都	2	NHK教育·大阪
京都	4	MBS毎日放送
京都	6	ABCテレビ
京都	8	関西テレビ
京都	10	よみうりテレビ
京都	5	KBS京都
大阪	1	NHK総合·大阪
大阪	2	NHK教育·大阪
大阪	4	MBS毎日放送
大阪	6	ABCテレビ
大阪	8	関西テレビ
大阪	10	よみうりテレビ
大阪	7	テレビ大阪
兵庫	1	NHK総合·神戸
兵庫	2	NHK教育·大阪
兵庫	4	MBS毎日放送
兵庫	6	ABCテレビ
兵庫	8	関西テレビ
兵庫	10	よみうりテレビ
兵庫	3	サンテレビ
奈良	1	NHK総合·奈良
奈良	2	NHK教育·大阪
奈良	4	MBS毎日放送
奈良	6	ABCテレビ
奈良	8	関西テレビ
奈良	10	よみうりテレビ
奈良	9	奈良テレビ

都道府県	チャンネルポジション	放送局
和歌山	1	NHK総合·和歌山
和歌山	2	NHK教育·大阪
和歌山	4	MBS毎日放送
和歌山	6	ABCテレビ
和歌山	8	関西テレビ
和歌山	10	よみうりテレビ
和歌山	5	テレビ和歌山
鳥取	3	NHK総合·鳥取
鳥取	2	NHK教育·鳥取
鳥取	8	山陰中央テレビ
鳥取	6	BSSテレビ
鳥取	1	日本海テレビ
島根	3	NHK総合·松江
島根	2	NHK教育·松江
島根	8	山陰中央テレビ
島根	6	BSSテレビ
島根	1	日本海テレビ
岡山	1	NHK総合·岡山
岡山	2	NHK教育·岡山
岡山	4	RNC西日本テレビ
岡山	5	KBS瀬戸内海放送
岡山	6	RSKテレビ
岡山	7	テレビせとうち
岡山	8	OHKテレビ
広島	1	NHK総合·広島
広島	2	NHK教育·広島
広島	3	RCCテレビ
広島	4	広島テレビ
広島	5	広島ホームテレビ
広島	8	TSS
山口	1	NHK総合·山口
山口	2	NHK教育·山口
山口	4	KRY山口放送
山口	3	TYSテレビ山口
山口	5	YAB山口朝日
徳島	3	NHK総合·徳島
徳島	2	NHK教育·徳島
徳島	1	四国放送
香川	1	NHK総合·高松
香川	2	NHK教育·高松
香川	4	RNC西日本テレビ
香川	5	KSB瀬戸内海放送
香川	6	RSKテレビ
香川	7	テレビせとうち
香川	8	OHKテレビ
愛媛	1	NHK総合·松山
愛媛	2	NHK教育·松山
愛媛	4	南海放送
愛媛	5	愛媛朝日
愛媛	6	あいテレビ
愛媛	8	テレビ愛媛
高知	1	NHK総合·高知
高知	2	NHK教育·高知
高知	4	高知放送
高知	6	テレビ高知
高知	8	さんさんテレビ
福岡	3	NHK総合·福岡
福岡	3	NHK総合·北九州
福岡	2	NHK教育·福岡
福岡	2	NHK教育·北九州
福岡	1	KBC九州朝日放送
福岡	4	RKB毎日放送
福岡	5	FBS福岡放送
福岡	7	TVQ九州放送
福岡	8	TNCテレビ西日本

都道府県	チャンネルポジション	放送局
佐賀	1	NHK総合·佐賀
佐賀	2	NHK教育·佐賀
佐賀	3	STSサガテレビ
長崎	1	NHK総合·長崎
長崎	2	NHK教育·長崎
長崎	3	NBC長崎放送
長崎	8	KTNテレビ長崎
長崎	5	NCC長崎文化放送
長崎	4	NIB長崎国際テレビ
熊本	1	NHK総合·熊本
熊本	2	NHK教育·熊本
熊本	3	RKK熊本放送
熊本	8	TKUテレビ熊本
熊本	4	KKTくまもと県民
熊本	5	KAB熊本朝日放送
大分	1	NHK総合·大分
大分	2	NHK教育·大分
大分	3	OBS大分放送
大分	4	TOSテレビ大分
大分	5	OAB大分朝日放送
宮崎	1	NHK総合·宮崎
宮崎	2	NHK教育·宮崎
宮崎	6	MRT宮崎放送
宮崎	3	UMKテレビ宮崎
鹿児島	3	NHK総合·鹿児島
鹿児島	2	NHK教育·鹿児島
鹿児島	1	MBC南日本放送
鹿児島	8	KTS鹿児島テレビ
鹿児島	5	KKB鹿児島放送
鹿児島	4	KYT鹿児島読売TV
沖縄	1	NHK総合·那覇
沖縄	2	NHK教育·那覇
沖縄	3	RBCテレビ
沖縄	5	QAB琉球朝日放送
沖縄	8	沖縄テレビ(OTV)

オートチャンネル設定一覧表

21～22ページの手順でエリア(地域)コードを設定すると、各チャンネルポジションに自動的に受信チャンネルが設定されます。

都道府県	都市名	地域番号	チャンネルポジションと放送局名・受信チャンネル											
			1		2		3		4		5		6	
			放送局名	受信CH	放送局名	受信CH	放送局名	受信CH	放送局名	受信CH	放送局名	受信CH	放送局名	受信CH
初期設定		ーー		1		2		3		4		5		6
北海道	札幌	01	北海道放送	1			NHK総合	3	テレビ北海道	17	札幌テレビ放送	5		
	函館	02	北海道文化放送	27			北海道テレビ放送	35	NHK総合	4	テレビ北海道	21	北海道放送	6
	旭川	03			NHK教育	2			テレビ北海道	33	北海道文化放送	37	北海道テレビ放送	39
	帯広	04	北海道文化放送	32			北海道テレビ放送	34	NHK総合	4			北海道放送	6
	釧路	05			NHK教育	2	北海道テレビ放送	39	北海道文化放送	41				
	苫小牧	06			NHK教育	49			北海道テレビ放送	61	北海道文化放送	53		
	小樽	07			NHK教育	2			北海道テレビ放送	4	北海道文化放送	26		
	北見	08			NHK教育	2			北海道テレビ放送	61	北海道文化放送	59		
	室蘭	09			NHK教育	2			テレビ北海道	29	北海道文化放送	37	北海道テレビ放送	39
	網走	10	北海道放送	1			NHK総合	3			札幌テレビ放送	5		
	稚内	11			北海道文化放送	26			NHK総合	28			札幌テレビ放送	22
	名寄	12			北海道文化放送	26			NHK総合	4			札幌テレビ放送	6
	根室	13			NHK教育	2					北海道文化放送	62	北海道テレビ放送	60
青森	青森	14	青森放送	1			NHK総合	3	青森朝日放送	34	NHK教育	5		
	八戸	15			アイビーシー岩手放送	2	テレビ岩手	37	岩手めんこいテレビ	29			岩手朝日テレビ	27
	むつ	16							NHK総合	4			青森朝日放送	56
岩手	盛岡	17	テレビ岩手	35					NHK総合	4			アイビーシー岩手放送	6
	釜石	18			NHK総合	2			岩手朝日テレビ	62			岩手めんこいテレビ	60
	二戸	19			アイビーシー岩手放送	2			岩手朝日テレビ	27	NHK総合	5		
宮城	仙台	20	東北放送	1			NHK総合	3			NHK教育	5		
	石巻	21	東北放送	59			NHK総合	51			NHK教育	49		
	気仙沼	22			NHK総合	2			東北放送	4			仙台放送	6
秋田	秋田	23			NHK教育	2					秋田朝日放送	31		
	大館	24	青森放送	1					NHK総合	4	秋田朝日放送	59	秋田放送	6
	大曲・横手	25			NHK教育	43					秋田朝日放送	41		
山形	山形	26							NHK教育	4			テレビユー山形	36
	鶴岡・酒田	27	山形放送	1			NHK総合	3					NHK教育	6
	米沢	28			さくらんぼテレビジョン	60			NHK教育	50			テレビユー山形	56
	新庄	29			NHK教育	2			さくらんぼテレビジョン	28			テレビユー山形	26
福島	福島・郡山	30			NHK教育	2			テレビユー福島	31			福島中央テレビ	33
	いわき	31							NHK総合	4			福島中央テレビ	58
	会津若松	32	NHK総合	1			NHK教育	3	テレビユー福島	47			福島テレビ	6
茨城	水戸	33	NHK総合	44			NHK教育	46	日本テレビ放送網	42			東京放送	40
	日立	34	NHK総合	52			NHK教育	50	日本テレビ放送網	54			東京放送	56
栃木	宇都宮	35	NHK総合	51			NHK教育	49	日本テレビ放送網	53	とちぎテレビ	31	東京放送	55
	矢板	36	NHK総合	40			NHK教育	30	日本テレビ放送網	36	とちぎテレビ	33	東京放送	42
群馬	前橋	37	NHK総合	52			NHK教育	50	日本テレビ放送網	54	放送大学	40	東京放送	56
	桐生	38	NHK総合	51			NHK教育	57	日本テレビ放送網	53	放送大学	40	東京放送	55
埼玉	さいたま	39	NHK総合	1			NHK教育	3	日本テレビ放送網	4	放送大学	16	東京放送	6
	熊谷・児玉	40	NHK総合	51			NHK教育	35	日本テレビ放送網	53			東京放送	55
	秩父	41	NHK総合	14			NHK教育	49	日本テレビ放送網	16			東京放送	18
千葉	千葉・船橋	42	NHK総合	1	東京メトロポリタンテレビ	14	NHK教育	3	日本テレビ放送網	4	放送大学	16	東京放送	6
	銚子	43	NHK総合	51			NHK教育	49	日本テレビ放送網	53			東京放送	55
東京	23区	44	NHK総合	1	放送大学	16	NHK教育	3	日本テレビ放送網	4	東京メトロポリタンテレビ	14	東京放送	6
	八王子	45	NHK総合	33			NHK教育	29	日本テレビ放送網	35	東京メトロポリタンテレビ	40	東京放送	37
	多摩	46	NHK総合	49			NHK教育	47	日本テレビ放送網	51	東京メトロポリタンテレビ	61	東京放送	53
神奈川	横浜・川崎	47	NHK総合	1			NHK教育	3	日本テレビ放送網	4	放送大学	16	東京放送	6
	横浜みなと	48	NHK総合	52			NHK教育	50	日本テレビ放送網	54			東京放送	56
	平塚・茅ヶ崎	49	NHK総合	33			NHK教育	29	日本テレビ放送網	35			東京放送	37
	小田原	50	NHK総合	52			NHK教育	50	日本テレビ放送網	54			東京放送	56
	秦野	51	NHK総合	47			NHK教育	49	日本テレビ放送網	51			東京放送	53
新潟	新潟	52					新潟テレビ21	21	テレビ新潟放送網	29	新潟放送	5		
	上越	53	NHK教育	1			NHK総合	3					新潟テレビ21	37
富山	富山	54	北日本放送	1			NHK総合	3					チューリップテレビ	32
	高岡	55	北日本放送	50			NHK総合	48					チューリップテレビ	42
石川	金沢	56							NHK総合	4			北陸放送	6
	七尾	57	テレビ金沢	57			北陸朝日放送	59			NHK教育	5		
福井	福井	58					NHK教育	3						
	敦賀	59											NHK総合	6
山梨	甲府	60	NHK総合	1			NHK教育	3			山梨放送	5	テレビ山梨	37
長野	長野(美ヶ原)	61			NHK総合	2			長野朝日放送	20			テレビ信州	30
	長野(善光寺平)	62			NHK総合	44			長野朝日放送	50			テレビ信州	40
	松本	63			NHK総合	44			長野朝日放送	50			テレビ信州	48
	飯田	64					NHK教育	3	NHK総合	4			信越放送	6
	岡谷・諏訪	65	長野朝日放送	61					NHK総合	4			信越放送	6
岐阜	岐阜	66	東海テレビ放送	1			NHK総合	3			中部日本放送	5	三重テレビ放送	33
	長良	67	東海テレビ放送	57			NHK総合	53			中部日本放送	55		
	高山	68			NHK教育	2	中京テレビ放送	26	NHK総合	4			中部日本放送	6
	各務原	69	東海テレビ放送	1			NHK総合	3			中部日本放送	5		
	中津川	70					中京テレビ放送	26	NHK総合	4			名古屋テレビ放送	6
静岡	静岡	71			NHK教育	2			静岡第一テレビ	31			静岡朝日テレビ	33
	浜松	72			静岡第一テレビ	30			NHK総合	4			静岡放送	6
	三島・沼津	73			NHK教育	51	静岡第一テレビ	61			静岡朝日テレビ	57		
	島田	74	NHK総合	56			NHK教育	54			静岡放送	62		
	富士	75			NHK教育	54	静岡第一テレビ	27			静岡朝日テレビ	29		
	藤枝	76	NHK総合	42			NHK教育	44			静岡放送	40		

チャンネルポジションと放送局名・受信チャンネル											
7		8		9		10		11		12	
放送局名	受信CH	放送局名	受信CH	放送局名	受信CH	放送局名	受信CH	放送局名	受信CH		受信CH
	7		8		9		10		11		12
北海道文化放送	27					北海道テレビ放送	35			NHK教育	12
						NHK教育	10			札幌テレビ放送	12
札幌テレビ放送	7			NHK総合	9			北海道放送	11		
						札幌テレビ放送	10			NHK教育	12
札幌テレビ放送	7			NHK総合	9			北海道放送	11		
札幌テレビ放送	57			NHK総合	51			北海道放送	55	テレビ北海道	47
札幌テレビ放送	7			北海道放送	9			NHK総合	11	テレビ北海道	24
札幌テレビ放送	7			NHK総合	9			北海道放送	53		
札幌テレビ放送	7			NHK総合	9			北海道放送	11		
北海道文化放送	27			北海道テレビ放送	35					NHK教育	12
		北海道テレビ放送	24			北海道放送	10			NHK教育	30
		北海道テレビ放送	24			北海道放送	10			NHK教育	12
札幌テレビ放送	7			NHK総合	9			北海道放送	11		
										青森テレビ	38
NHK教育	7			NHK総合	9	青森朝日放送	31	青森放送	11	青森テレビ	33
		青森テレビ	58			青森放送	10			NHK教育	12
		NHK教育	8			岩手めんこいテレビ	33			岩手朝日テレビ	31
		テレビ岩手	58			アイビーシー岩手放送	10			NHK教育	12
		岩手めんこいテレビ	29			テレビ岩手	37			NHK教育	12
東日本放送	32			宮城テレビ放送	34					仙台放送	12
東日本放送	61			宮城テレビ放送	55					仙台放送	57
		東日本放送	43			NHK教育	10			宮城テレビ放送	37
				NHK総合	9			秋田放送	11	秋田テレビ	37
		NHK教育	8							秋田テレビ	57
				NHK総合	45			秋田放送	47	秋田テレビ	51
		NHK総合	8			山形放送	10	さくらんぼテレビジョン	30	山形テレビ	38
		テレビユー山形	22					さくらんぼテレビジョン	24	山形テレビ	39
		NHK総合	52			山形放送	54			山形テレビ	58
				NHK総合	9			山形放送	11	山形テレビ	58
				NHK総合	9	福島放送	35	福島テレビ	11		
テレビユー福島	62	福島テレビ	8			NHK教育	10			福島放送	60
		福島中央テレビ	37			福島放送	41				
		フジテレビジョン	38			テレビ朝日	36			テレビ東京	32
		フジテレビジョン	58			テレビ朝日	60			テレビ東京	62
		フジテレビジョン	57			テレビ朝日	41			テレビ東京	44
		フジテレビジョン	45			テレビ朝日	59			テレビ東京	61
テレビ埼玉	38	フジテレビジョン	58			テレビ朝日	60	群馬テレビ	48	テレビ東京	62
		フジテレビジョン	35			テレビ朝日	59	群馬テレビ	41	テレビ東京	61
テレビ埼玉	38	フジテレビジョン	8			テレビ朝日	10	群馬テレビ	48	テレビ東京	12
テレビ埼玉	30	フジテレビジョン	57			テレビ朝日	59	群馬テレビ	48	テレビ東京	61
テレビ埼玉	47	フジテレビジョン	29			テレビ朝日	38			テレビ東京	44
テレビ神奈川	42	フジテレビジョン	8	千葉テレビ放送	46	テレビ朝日	10			テレビ東京	12
		フジテレビジョン	57	千葉テレビ放送	39	テレビ朝日	59			テレビ東京	61
テレビ神奈川	42	フジテレビジョン	8	千葉テレビ放送	46	テレビ朝日	10	テレビ埼玉	38	テレビ東京	12
		フジテレビジョン	31			テレビ朝日	45			テレビ東京	62
		フジテレビジョン	55			テレビ朝日	57			テレビ東京	59
テレビ神奈川	42	フジテレビジョン	8	千葉テレビ放送	46	テレビ朝日	10			テレビ東京	12
テレビ神奈川	48	フジテレビジョン	58	千葉テレビ放送	46	テレビ朝日	60			テレビ東京	62
テレビ神奈川	31	フジテレビジョン	39			テレビ朝日	41			テレビ東京	43
テレビ神奈川	46	フジテレビジョン	58			テレビ朝日	60			テレビ東京	62
テレビ神奈川	61	フジテレビジョン	55			テレビ朝日	57			テレビ東京	59
		NHK総合	8			新潟総合テレビ	35			NHK教育	12
		テレビ新潟放送網	27			新潟放送	10			新潟総合テレビ	33
						NHK教育	10			富山テレビ放送	34
						NHK教育	46			富山テレビ放送	44
北陸朝日放送	25	NHK教育	8			テレビ金沢	33			石川テレビ放送	37
石川テレビ放送	55			NHK総合	9			北陸放送	11		
				NHK総合	9			福井放送	11	福井テレビジョン放送	39
		福井放送	8			福井テレビジョン放送	38			NHK教育	12
				NHK教育	9	長野放送	38	信越放送	11		
				NHK教育	46	長野放送	42	信越放送	48		
				NHK教育	46	長野放送	42	信越放送	40		
		テレビ信州	42			長野放送	40			長野朝日放送	44
		NHK教育	8			テレビ信州	59			長野放送	47
テレビ愛知	25			NHK教育	9	岐阜放送	37	名古屋テレビ放送	11	中京テレビ放送	35
				NHK教育	49	岐阜放送	61	名古屋テレビ放送	59	中京テレビ放送	47
		東海テレビ放送	8			岐阜放送	38			名古屋テレビ放送	12
				NHK教育	9	岐阜放送	37	名古屋テレビ放送	11	中京テレビ放送	35
		中部日本放送	8			東海テレビ放送	10	岐阜放送	28	NHK教育	12
				NHK総合	9			静岡放送	11	テレビ静岡	35
		NHK教育	8			静岡朝日テレビ	28			テレビ静岡	34
テレビ静岡	59			NHK総合	53			静岡放送	55		
静岡第一テレビ	48					静岡朝日テレビ	50			テレビ静岡	58
テレビ静岡	39			NHK総合	52			静岡放送	41		
静岡第一テレビ	24					静岡朝日テレビ	26			テレビ静岡	38

オートチャンネル設定一覧表　（つづき）

都道府県	都市名	地域番号	チャンネルポジションと放送局名・受信チャンネル											
			1		2		3		4		5		6	
			放送局名	受信CH	放送局名	受信CH	放送局名	受信CH	放送局名	受信CH	放送局名	受信CH	放送局名	受信CH
愛知	名古屋	77	東海テレビ放送	1			NHK総合	3			中部日本放送	5	三重テレビ放送	33
	豊橋	78	東海テレビ放送	56			NHK総合	54			中部日本放送	62	三重テレビ放送	33
	豊田	79	東海テレビ放送	57			NHK総合	53			中部日本放送	55	三重テレビ放送	33
三重	津	80	東海テレビ放送	1			NHK総合	3			中部日本放送	5	三重テレビ放送	33
	伊勢	81	東海テレビ放送	57			NHK総合	53			中部日本放送	55	三重テレビ放送	59
	名張	82	東海テレビ放送	62			NHK総合	52			中部日本放送	60	三重テレビ放送	58
滋賀	大津	83			NHK総合	28			毎日放送	36			朝日放送	38
	彦根	84			NHK総合	52			毎日放送	54			朝日放送	58
京都	京都	85			NHK総合	32	テレビ大阪	19	毎日放送	4			朝日放送	6
	山科	86			NHK総合	52			毎日放送	54			朝日放送	56
	福知山	87			NHK総合	50			毎日放送	54			朝日放送	58
	舞鶴	88			NHK総合	51			毎日放送	53			朝日放送	55
大阪	大阪	89			NHK総合	2	テレビ大阪	19	毎日放送	4	サンテレビジョン	36	朝日放送	6
兵庫	神戸	90			NHK総合	28			毎日放送	31	テレビ大阪	19	朝日放送	41
	姫路	91			NHK総合	50			毎日放送	54			朝日放送	58
	明石	92			NHK総合	51			毎日放送	53	テレビ大阪	19	朝日放送	57
	川西	93			NHK総合	29			毎日放送	35			朝日放送	37
	灘	94			NHK総合	52			毎日放送	54	テレビ大阪	19	朝日放送	56
	長田	95			NHK総合	44			毎日放送	38			朝日放送	40
	北淡・垂水	96			NHK総合	51			毎日放送	53			朝日放送	57
	三木	97			NHK総合	44			毎日放送	34			朝日放送	38
奈良	奈良	98			NHK総合	2			毎日放送	4	京都放送	34	朝日放送	6
	生駒	99			NHK総合	2			毎日放送	4			朝日放送	6
	五條	100			NHK総合	43			毎日放送	33			朝日放送	35
和歌山	和歌山	101			NHK総合	32			毎日放送	42	テレビ和歌山	30	朝日放送	44
	海南・田辺	102			NHK総合	50			毎日放送	54	テレビ和歌山	56	朝日放送	58
	新宮	103			NHK総合	44			毎日放送	36	テレビ和歌山	34	朝日放送	38
鳥取	鳥取	104	日本海テレビジョン放送	1			NHK総合	3	NHK教育	4				
	米子	105					NHK総合	42			NHK教育	5		
	倉吉	106	日本海テレビジョン放送	1			NHK総合	3	NHK教育	4				
島根	松江	107	日本海テレビジョン放送	30									NHK総合	6
	浜田	108			NHK総合	2	日本海テレビジョン放送	54			山陰放送	5		
岡山	岡山	109					NHK教育	3			NHK総合	5	テレビせとうち	23
	津山	110			NHK総合	2			テレビせとうち	56			瀬戸内海放送	62
	笠岡	111			NHK総合	2			NHK教育	4	テレビせとうち	19	山陽放送	6
広島	広島	112	テレビ新広島	31			NHK総合	3	中国放送	4				
	福山	113	テレビ新広島	54			NHK教育	3			NHK総合	5		
	呉	114	NHK教育	1			広島ホームテレビ	24			広島テレビ放送	5		
	尾道	115	NHK総合	1			広島ホームテレビ	24			テレビ新広島	26		
山口	山口	116	NHK教育	42									山口朝日放送	52
	下関	117	NHK教育	41			TVQ九州放送	23	山口放送	4			山口朝日放送	21
	宇部	118	NHK教育	55									山口朝日放送	24
	岩国	119	NHK教育	1									山口朝日放送	28
	防府	120	NHK教育	1									山口朝日放送	28
徳島	徳島	121	四国放送	1			NHK総合	3	毎日放送	4			朝日放送	6
香川	高松	122					NHK教育	39			NHK総合	37	テレビせとうち	19
	丸亀	123					NHK教育	40			NHK総合	44	テレビせとうち	46
愛媛	松山	124			NHK教育	2							NHK総合	6
	今治	125			NHK教育	30							NHK総合	32
	新居浜	126			NHK総合	2			NHK教育	4			南海放送	6
	宇和島	127	NHK教育	1									NHK総合	6
高知	高知	128							NHK総合	4			NHK教育	6
	中村	129	NHK総合	1			高知放送	3					テレビ高知	32
福岡	福岡	130	九州朝日放送	1			NHK総合	3	アール・ケー・ビー毎日放送	4	TVQ九州放送	19	NHK教育	6
	北九州	131			九州朝日放送	2	福岡放送	35			TVQ九州放送	23	NHK総合	6
	久留米	132	九州朝日放送	57			NHK総合	46	アール・ケー・ビー毎日放送	48	TVQ九州放送	14	NHK教育	54
	大牟田	133	九州朝日放送	58			NHK総合	53	アール・ケー・ビー毎日放送	61	TVQ九州放送	19	NHK教育	50
	行橋	134			九州朝日放送	57	福岡放送	43			TVQ九州放送	19	NHK総合	49
佐賀	佐賀	135			NHK教育	40	福岡放送	52	サガテレビ	36	TVQ九州放送	14	九州朝日放送	57
	伊万里	136	NHK教育	44			福岡放送	52	サガテレビ	41	TVQ九州放送	14	九州朝日放送	57
長崎	長崎	137	NHK教育	1			NHK総合	3			長崎放送	5		
	佐世保	138			NHK教育	2							長崎文化放送	31
	諫早	139	NHK教育	45			NHK総合	47			長崎放送	49		
熊本	熊本	140			NHK教育	2	熊本朝日放送	16	熊本県民テレビ	22			テレビ熊本	34
	水俣	141	NHK教育	1			熊本朝日放送	32	NHK総合	4			熊本放送	6
大分	大分	142					NHK総合	3			大分放送	5	大分朝日放送	24
	中津	143					NHK総合	48			大分放送	51	大分朝日放送	17
	佐伯	144	NHK教育	1							テレビ大分	49	大分朝日放送	31
宮崎	宮崎	145					テレビ宮崎	35						
	延岡	146			NHK教育	2			NHK総合	4			宮崎放送	6
鹿児島	鹿児島	147	南日本放送	1			NHK総合	3			NHK教育	5		
	鹿屋	148			NHK教育	2			NHK総合	4			南日本放送	6
	阿久根	149							鹿児島放送	23			鹿児島テレビ放送	35
沖縄	那覇	150			NHK総合	2							琉球朝日放送	28

2006年2月現在のものです。
新たに追加された放送局はマニュアルで設定してください。

チャンネルポジションと放送局名・受信チャンネル											
7		8		9		10		11		12	
放送局名	受信CH	放送局名	受信CH	放送局名	受信CH	放送局名	受信CH	放送局名	受信CH	放送局名	受信CH
テレビ愛知	25			NHK教育	9	岐阜テレビ	37	名古屋テレビ放送	11	中京テレビ放送	35
テレビ愛知	52			NHK教育	50	岐阜テレビ	37	名古屋テレビ放送	60	中京テレビ放送	58
テレビ愛知	49			NHK教育	51	岐阜テレビ	37	名古屋テレビ放送	61	中京テレビ放送	59
テレビ愛知	25			NHK教育	9	岐阜テレビ	37	名古屋テレビ放送	11	中京テレビ放送	35
テレビ愛知	25			NHK教育	49	岐阜テレビ	37	名古屋テレビ放送	61	中京テレビ放送	47
テレビ愛知	25			NHK教育	50	岐阜テレビ	37	名古屋テレビ放送	56	中京テレビ放送	54
京都放送	34	関西テレビ放送	40	びわ湖放送	30	読売テレビ放送	42			NHK教育	46
		関西テレビ放送	60	びわ湖放送	56	読売テレビ放送	62			NHK教育	50
京都放送	34	関西テレビ放送	8			読売テレビ放送	10			NHK教育	12
京都放送	62	関西テレビ放送	58			読売テレビ放送	60			NHK教育	50
京都放送	56	関西テレビ放送	60			読売テレビ放送	62			NHK教育	52
京都放送	57	関西テレビ放送	59			読売テレビ放送	61			NHK教育	49
京都放送	34	関西テレビ放送	8			読売テレビ放送	10			NHK教育	12
		関西テレビ放送	43	サンテレビジョン	36	読売テレビ放送	47			NHK教育	45
		関西テレビ放送	60	サンテレビジョン	56	読売テレビ放送	62			NHK教育	52
		関西テレビ放送	59	サンテレビジョン	55	読売テレビ放送	61			NHK教育	49
		関西テレビ放送	39	サンテレビジョン	33	読売テレビ放送	41			NHK教育	31
		関西テレビ放送	58	サンテレビジョン	62	読売テレビ放送	60			NHK教育	50
		関西テレビ放送	42	サンテレビジョン	34	読売テレビ放送	48			NHK教育	46
		関西テレビ放送	59	サンテレビジョン	55	読売テレビ放送	61			NHK教育	49
		関西テレビ放送	40	サンテレビジョン	36	読売テレビ放送	42			NHK教育	46
		関西テレビ放送	8			読売テレビ放送	10	奈良テレビ放送	55	NHK教育	12
		関西テレビ放送	8			読売テレビ放送	10	奈良テレビ放送	26	NHK教育	22
		関西テレビ放送	37			読売テレビ放送	39	奈良テレビ放送	41	NHK教育	45
		関西テレビ放送	46			読売テレビ放送	48			NHK教育	25
		関西テレビ放送	60			読売テレビ放送	62			NHK教育	52
		関西テレビ放送	40			読売テレビ放送	42			NHK教育	46
						山陰放送	22			山陰中央テレビジョン放送	24
		日本海テレビジョン放送	8			山陰放送	10			山陰中央テレビジョン放送	34
		山陰中央テレビジョン放送	58			山陰放送	56				
		山陰中央テレビジョン放送	34			山陰放送	10			NHK教育	12
		山陰中央テレビジョン放送	58	NHK教育	9						
瀬戸内海放送	25			西日本放送	9			山陽放送	11	岡山放送	35
山陽放送	7			西日本放送	58			岡山放送	60	NHK教育	12
				西日本放送	17	瀬戸内海放送	21	岡山放送	60		
NHK教育	7			広島ホームテレビ	35					広島テレビ放送	12
中国放送	7			広島ホームテレビ	57			広島テレビ放送	11		
テレビ新広島	26			中国放送	9			NHK総合	11		
NHK教育	7					中国放送	10			広島テレビ放送	12
テレビ山口	49			NHK総合	44			山口放送	61		
テレビ山口	33			NHK総合	39	テレビ西日本	10			福岡放送	35
テレビ山口	44			NHK総合	58	テレビ西日本	10	山口放送	61		
テレビ山口	22			NHK総合	9			山口放送	11		
テレビ山口	62			NHK総合	9			山口放送	11		
		関西テレビ放送	8			読売テレビ放送	10			NHK教育	38
瀬戸内海放送	33			西日本放送	41			山陽放送	29	岡山放送	31
瀬戸内海放送	42			西日本放送	50			山陽放送	48	岡山放送	52
		あいテレビ	29	愛媛朝日テレビ	25	南海放送	10	広島ホームテレビ	35	愛媛放送	37
		あいテレビ	27	愛媛朝日テレビ	17	南海放送	34			愛媛放送	36
愛媛朝日テレビ	14	あいテレビ	27							愛媛放送	36
		あいテレビ	25	愛媛朝日テレビ	16	南海放送	10			愛媛放送	27
		高知放送	8			テレビ高知	38			高知さんさんテレビ	40
		高知さんさんテレビ	14					NHK教育	11		
				テレビ西日本	9					福岡放送	37
		アール・ケー・ビー毎日放送	8			テレビ西日本	10			NHK教育	12
				テレビ西日本	60					福岡放送	52
				テレビ西日本	55					福岡放送	43
		アール・ケー・ビー毎日放送	60			テレビ西日本	54			NHK教育	46
		アール・ケー・ビー毎日放送	48	NHK総合	38	テレビ西日本	60	熊本放送	11		
		アール・ケー・ビー毎日放送	48	NHK総合	51	テレビ西日本	60	熊本放送	11		
テレビ長崎	37			長崎文化放送	27			長崎国際テレビ	25		
テレビ長崎	35	NHK総合	8			長崎放送	10	長崎国際テレビ	17		
テレビ長崎	42			長崎文化放送	24			長崎国際テレビ	20		
				NHK総合	9			熊本放送	11		
		熊本県民テレビ	36			テレビ熊本	38				
テレビ大分	36									NHK教育	12
テレビ大分	37									NHK教育	45
NHK総合	7			大分放送	9						
		NHK総合	8			宮崎放送	10			NHK教育	12
		テレビ宮崎	39								
鹿児島放送	32			鹿児島テレビ放送	38			鹿児島読売テレビ	30		
		鹿児島放送	31			鹿児島テレビ放送	33			鹿児島読売テレビ	25
		NHK総合	8			南日本放送	10	鹿児島読売テレビ	17	NHK教育	12
		沖縄テレビ放送	8			琉球放送	10			NHK教育	12

ライセンス情報

本製品で使用しているソフトウェアプログラムには、Linux OSが使用されています。Linuxは、GNU General Public Licenseの条件の下で利用が認められたソフトウェアが含まれています。当該ソースコードを入手するには、サービスセンター（裏表紙に記載）にお問い合わせください。

本機に使用しているフリーソフトウェアに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英文）

REQUIRED PUBLIC STATEMENT FOR GPL/LGPL LICENSED SOFTWARE USED IN THIS TELEVISION

The following GPL executables and LGPL libraries are used in this product and are subject to the GPL/LGPL License Agreements included as part of this documentation:
kernel-2.4.20_MVL 3.1

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software–to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".
   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.
   You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
   a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
   b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
   c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such

interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.
In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
   a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
   b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
   c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

   The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
   If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.
5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.
6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.
7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.
   For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
   It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.
   This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.
   Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs
If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.
To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>
This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.
This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.
If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type 'show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type 'show c' for details.

The hypothetical commands 'show w' and 'show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than 'show w' and 'show c'; they could even be mouse-clicks or menu items–whatever suits your program.
You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2.1, February 1999

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software–to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages–typically libraries–of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".
   A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The “Library”, below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A “work based on the Library” means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term “modification”.)
“Source code” for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.
Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library’s complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.
2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
   a) The modified work must itself be a software library.
   b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
   c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
   d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.
   (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.
   Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.
   In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.
3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.
   Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.
   This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.
4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.
   If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.
5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a “work that uses the Library”. Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.
   However, linking a “work that uses the Library” with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a “work that uses the library”. The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.
   When a “work that uses the Library” uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.
   If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted,

regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.) Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.
   You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:
   a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
   b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
   c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
   d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
   e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.
   For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.
   It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:
   a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
   b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.
   If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.
This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.
13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and “any later version”, you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.
14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries
If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).
To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the “copyright” line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library’s name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>
This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.
This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.
You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a “copyright disclaimer” for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob’ (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That’s all there is to it!

REQUIRED STATEMENT FOR INDEPENDENT JPEG GROUP SOFTWARE
The module, libjpeg.so is the work of the Independent JPEG Group.
©copyright 1991 - 1998, Thomas G. Lane. All rights reserved.

REQUIRED STATEMENT FOR SOFTWARE DEVELOPED BY THE OPENSSL PROJECT USED IN THIS PRODUCT
OpenSSL License

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
Original SSLeay License

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

故障かな?と思ったら

使用方法を間違えると、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。
修理を依頼される前に、下の表でチェックしてください。

症　状	主 な 原 因	チ ェ ッ ク 項 目	参照ページ
電源が入らない。	① 電源プラグが抜けている。	① コンセントにしっかり差し込んでください。	12
電源が入っているのに操作ができない。	① 各種安全装置が働いている。 ② ソフトウェアのダウンロードをしている。	① 電源コードを一度コンセントから抜き、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れてください。 ② ソフトウェアのダウンロードが終了するまで、操作ボタン(本体、リモコンの電源ボタン以外) は動作しません。ダウンロードが終了すれば正常動作となります。	12 40
突然電源が切れる。	① 電源を自動的にきる機能が働いている。	① オートシャットオフを「オフ」に変更して下さい。	36
音声は出るが画像がでない。	①「コントラスト」「ブライトネス」の調整が悪い。 ② データーを読み込んでいる。 ③ UHF アンテナが地上デジタル放送の送信局に向いていない。または、受信感度の数値が低い。	①「コントラスト」「ブライトネス」の調整をしてください。 ② データーの読み込みが終わるまでしばらくお待ちください。 ③ アンテナの位置・角度を調整して、アンテナレベルを 50 以上の値になるようにしてください。受信状態によっては、デジタル対応のブースターが必要な場合があります。	33 15 17
画像が映らない。	① 異なる外部入力モードになっている。 ② UHF アンテナが地上デジタル放送の送信局に向いていない。または、受信感度の数値が低い。	① 入力切換ボタンを押してお望みのモードにしてください。 ② アンテナの位置・角度を調整して、アンテナレベルを 50 以上の値になるようにしてください。受信状態によっては、デジタル対応のブースターが必要な場合があります。	41 17
画像の色や色合いが悪い。	①「色」「色合い」の調整がずれている。	①「色」「色合い」の調整をしてください。	33
画面にしま模様がでる。	① 他のテレビや、ラジオ・ビデオパソコン・テレビゲーム・オーディオ機器などから妨害を受けている。	① 妨害を受けているものから離してください。	−
画像がなめらかに動かない。	① 受信した信号がビデオ素材で製作されている。	① シネマモードを「ビデオ」に変更してください。	36
画像は出るが、音声がでない。	① 音量が最小になっている。 ② リモコンのミュートボタンを押している。 ③ 音声ケーブルが接続されていない。 ④ ヘッドホンが挿入されている。 ⑤ UHF アンテナが地上デジタル放送の送信局に向いていない。または、受信感度の数値が低い。	① 音量＋ボタンを押してください。 ② リモコンのミュートボタンを押して、ミュート状態を解除してください。 ③ ケーブルをしっかり接続してください。 ④ 背面のヘッドホン端子からヘッドホンを抜いてください。 ⑤ アンテナの位置・角度を調整して、アンテナレベルを 50 以上の値になるようにしてください。受信状態によっては、デジタル対応のブースターが必要な場合があります。	28 29 41〜43 29 17
音声が途切れる。	① UHF アンテナが地上デジタル放送の送信局に向いていない。または、受信感度の数値が低い。 ② デジタル受信中にチャンネルを切り換えるとチャンネル表示がでるタイミングで、音声が途切れることがあります。	① アンテナの位置・角度を調整して、アンテナレベルを 50 以上の値になるようにしてください。受信状態によっては、デジタル対応のブースターが必要な場合があります。 ② チャンネルデータの取得処理によるものであり、故障ではありません。	17 −
スピーカーにつないだが音が出ない。	① 外部機器もしくはアナログ放送の信号である。	① 本機からは地上デジタル放送の信号しか出力いたしません。外部機器の音声を外部スピーカーなどで出力したい場合には、外部機器から直接スピーカー側に接続していただく必要があります。	43

症　状	主　な　原　因	チ　ェ　ッ　ク　項　目	参照ページ
デジタル放送だけが映らない。	① B-CAS カードが正しく挿入されていない。 ② UHF アンテナが設置されていない。 ③ ご使用の地区では放送が開始されていない。 ④ アンテナ線が正しく接続されていない。 ⑤ お住まいの地域を正しく設定していない。	① B-CAS カードを正しく挿入してください。 ② UHF アンテナが立っているか確認してください。 ③ Dpa にお問い合わせください。 ④ アンテナ線を正しく接続してください。 ⑤ チャンネル設定を行なってください。	14 13 7 13 18
チャンネルが受信できない。	① アンテナをさえぎる障害がある。 ② UHF アンテナが地上デジタル放送の送信局に向いていない。または、受信感度の数値が低い。 ③ ケーブルテレビの送信方式が異なる。 ④ 契約していない有料放送である。	① 障害が無いように、アンテナ位置を調整してください。 ② アンテナの位置・角度を調整して、アンテナレベルを 50 以上の値になるようにしてください。受信状態によっては、デジタル対応のブースターが必要な場合があります。 ③ ケーブルテレビ放送会社に、送信方式を確認してください。（本機が対応しているのはパススルー方式のみです。） ④ 有料放送会社と契約してください。	– 17 6 –
地上デジタル放送の放送局のマークが表示されない。	① 放送局のマークを表示するまでには時間がかかることがあります。	① 地上デジタル放送をしばらく視聴すると、マークが表示されます。	–
画面が止まる。	① アンテナをさえぎる障害がある。 ② UHF アンテナが地上デジタル放送の送信局に向いていない。または、受信感度の数値が低い。 ③ アンテナおよびアンテナ線は専用のものを使用していない。	① 障害物が無いように、アンテナ位置を調整してください。 ② アンテナの位置・角度を調整して、アンテナレベルを 50 以上の値になるようにしてください。受信状態によっては、デジタル対応のブースターが必要な場合があります。 ③ 専用のアンテナとアンテナ線を使用してください。	– 17 13
地上デジタルなのに画質が悪い。	① 地上デジタル放送では番組内容によりＳＤ放送（一般画質放送）とＨＤ放送（ハイビジョン放送）があり、ＳＤ放送の場合はＨＤ放送と比べ画質が落ちます。	① 放送の内容によるもので故障では有りません。	7
デジタル放送が受信できなくなった。	① ソフトウェアのダウンロードをした。	① ソフトウェアのダウンロードの内容によっては、各種設定が工場出荷状態時の設定値に戻る場合があります。再度設定のやり直しをして下さい。	40
勝手にチャンネルが切り替わる。	① ソフトウェアのダウンロードを予定している。	① ソフトウェアのダウンロードが始まる１分前になると、ダウンロードを行うチャンネルに切り換わります。	40
ダウンロードが終了しない。 電源が入らなくなった。	① ソフトウェアのダウンロード中に異常が発生した。	① 電源コードを一度コンセントから抜き､あらためてコンセントに差し込み、電源を入れてください。	40
ダウンロードが終了後画面が黒くなった。	① ソフトウェアのダウンロードの完了処理を行なっています。	① ソフトウェアのダウンロード終了時に完了処理を行うため、約１分間ほど黒画面になりますが､故障ではありません。正常画面が出るまでそのままお待ちください。	40
リモコンで操作できない。	① 電池の＋－が逆になっている。 ② 電池が消耗している。 ③ リモコンが本体の受光部に向いていない。	① ＋－を正しく入れてください。 ② ２本とも新しいものと交換してください。 ③ リモコンを正しく向けてお使いください。	11 11 11

- 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズが入った場合などに誤動作を起こすことがあります。本機が正常に操作できなくなった場合は、一度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。
- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
- 室温や湿度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮することで“ビシッ”と音がする場合がありますが、故障ではありません。
- 地上デジタル放送は、地上アナログ放送に比べて数秒遅れて放送されますが、故障ではありません。

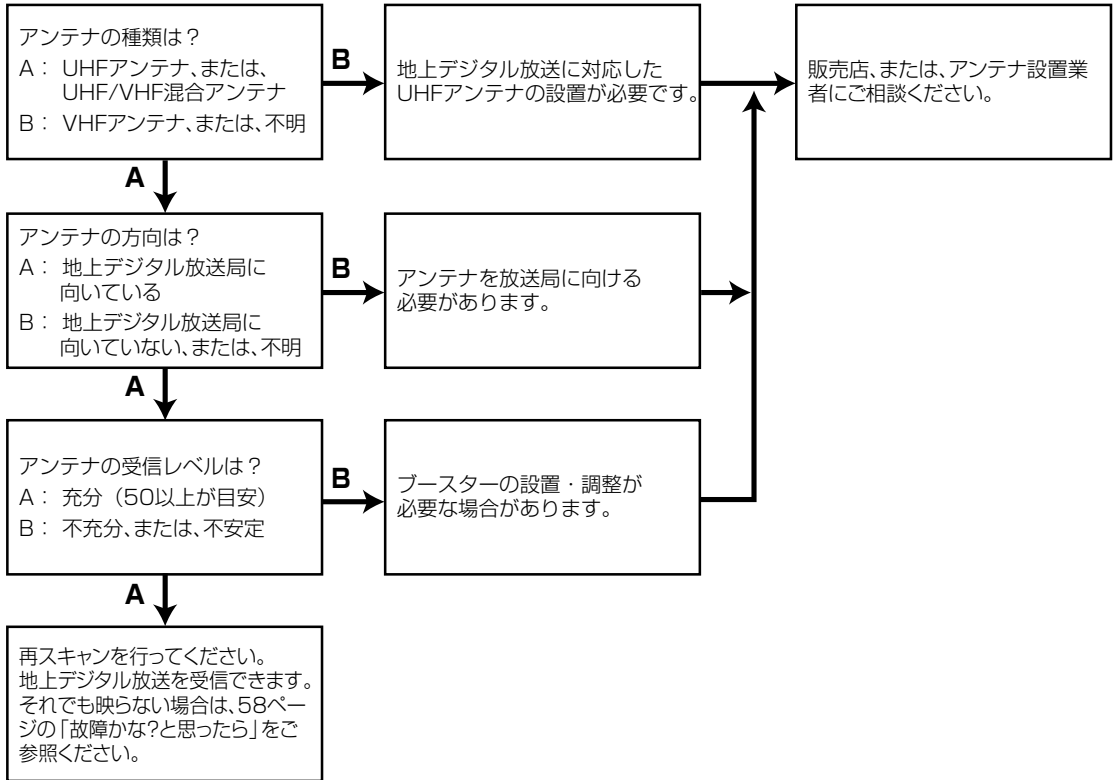
エラー表示一覧表

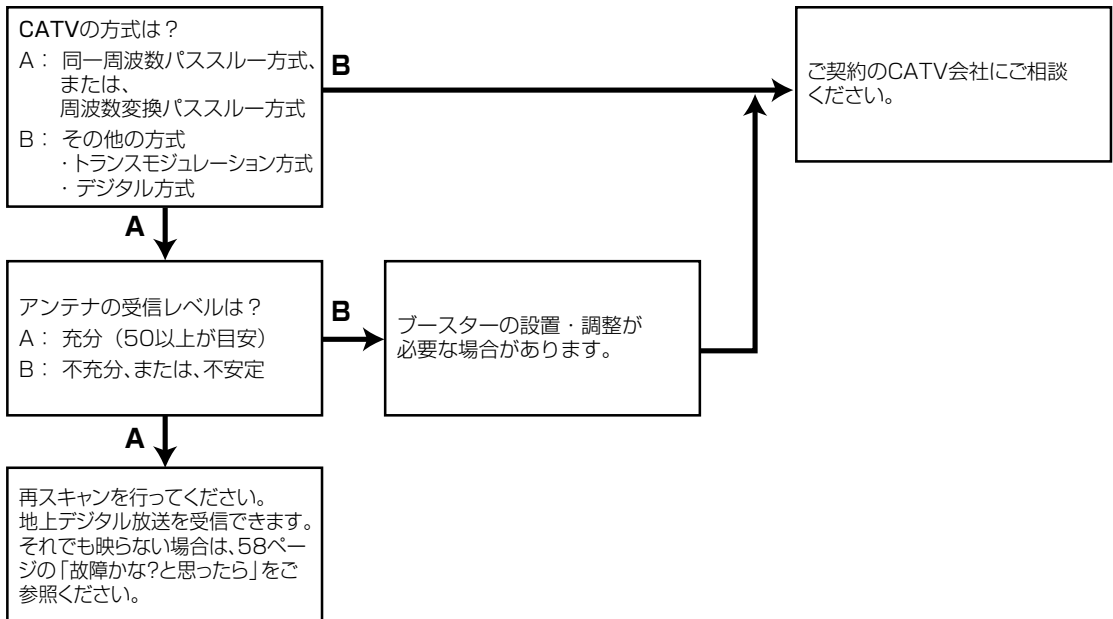
代表的なエラーについて説明します。

エラー表示	エラーコード	発生要因	チェック項目
放送チャンネルでないため視聴できません	E200	・通信など通常の放送形態でないチャンネルを選局した。 ・ホテルなどで特定の視聴者向けのサービスとして放送しているチャンネルを選局した。	・通常の放送チャンネルを選局してください。
信号レベルが低下しています	E201	・受信レベルが低下している。	・受信レベルが一時的に低下している場合は、受信レベルが回復するまでしばらくお待ち下さい。 ・常時表示が出る場合は受信レベルが低いことが考えられ、13、17ページを再度ご確認頂き、アンテナ設置業者等にご相談ください。
受信できません	E202	・適合したアンテナでない。 ・雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 ・アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 ・アンテナの設定値が合っていない。 ・アンテナの方向ずれや故障。	・放送に適合したデジタル放送用アンテナであることをご確認ください。 ・アンテナの接続や設定が合っているかご確認ください。 ・アンテナ線をご確認ください ※選局しているチャンネルでの放送が休止中の場合も表示することがあります。
現在放送されていません	E203	・選局したチャンネルでの放送が休止中。 ・放送が終了している。	・番組表などで放送時間をご確認ください。 ・放送中のチャンネルを選局してください。 ※雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示することがあります。
このチャンネルはありません	E204	・番組表で、表示するチャンネルがまったくないため。	・表示できるチャンネルを選んでください。
このチャンネルは受信できません	E210	・部分受信サービスを選局したため。	・本機は対応していないので受信できません。
B-CASカードを正しくセットしてください	0800	・B-CASカードが挿入されていない、または正しく挿入されていない。	・B-CASカードを抜き差ししてみてください。 ・B-CASカードが正しく挿入されているかご確認ください。
B-CASカードに不具合があります。カスタマーセンターにお問い合わせください	A1FF	・使用できないB-CASカードを挿入している。	・同梱のB-CASカードを挿入してください。
ご利用できないB-CASカードです。カスタマーセンターにお問い合わせください	A102	・使用できないB-CASカードを挿入している。	・同梱のB-CASカードを挿入してください。

エラー表示	エラーコード	発生要因	チェック項目
このICカードには必要な情報がありません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください	A103	・このICカードは無効です。	・同梱のB-CASカードを挿入してください。
このチャンネルはご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください	8901 8501 8301	・契約されていないチャンネルを選局しています。	・ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡して契約してください。
契約期間が切れています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください	8902 8502 8302	・契約期限が過ぎているチャンネルを選局しています。	・ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡して再契約してください。
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください	8903 8503 8303	・選んだチャンネル（番組）の視聴地域が限定されているため、視聴できない。	・詳しくはご覧のチャンネルのカスタマーセンターにご連絡ください。
ICカードの交換が必要です。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください	6400 6581	・B-CASカードが故障している、または交換の必要がある。	・カードを抜き差ししてみてください。 ・それでも正常にならない場合は、カードに記載されているB-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。
このICカードは使用できません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください	A104 A105 A106 A107	・B-CASカードが登録されていない。	・B-CASカードの登録をしてください。カードの説明紙に記載されているB-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。

地上デジタル放送が受信できないときは

地上デジタル放送が受信できない場合は、下記のフローチャートにしたがってお確かめください。

アンテナで受信する場合：

CATV で受信する場合：

- 本機は BS デジタルチューナーおよび 110 度 CS デジタルチューナーを内蔵していません。
- ご使用のアンテナについては、販売店、またはアンテナ設置業者にご相談ください。
- 受信障害のある環境では、放送エリア内でも受信できないことがあります。
- マンションなどの集合住宅の場合は、管理会社、または管理組合にご相談ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される前に58 ~ 59ページの「故障かな？と思ったら」をもう一度お読みください。
本製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店または、サービスセンター（裏表紙に記載）にご相談ください。

■保証書（別に添付してあります。）
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みの後、大切に保存してください。製造番号は品質管理上重要なものです。保証書と製品本体後面の製造番号をお確かめください。

■保証期間はご購入日から1年間です。

■修理サービスについて
この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、直らないときには、必ず電源プラグを抜いてから、後の処理をしてください。

- 保証期間中は保証書の規定に従ってお買い上げの販売店、またはドウシシャサービスセンターが修理をさせていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理を依頼されるときにご連絡いただきたい内容
- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・お買い上げ日・お買い上げの販売店名
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品の最低保有期間
本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は製造打ち切り後8年間です。

■アフターサービス等について、おわかりにならないとき
アフターサービスのお問い合わせは、お買い上げの販売店、またはドウシシャサービスセンター（裏表紙に記載）窓口へお問い合わせください。

家電品
愛情点検明るい暮らし

長年ご使用のテレビの点検を！	
こんな症状はありませんか	・電源が入りにくい ・映像や音が出ない ・煙が出たり、異常な臭いや音がする ・水や異物が入った ・音は出るが映像がでない ・その他の異常や故障がある
上記のような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ずお買い上げの販売店に点検(有償)をご相談ください。	

J-Moss グリーンマークとは
特定の化学物質の含有率が基準値以下であることを示すマークです。
含有する化学物質については、下記のウェブサイトをご覧ください。
http://www.orion-electric.co.jp/jp/products/index.html

仕様

	項目	仕様
テレビ部	受信機型サイズ	22V型
	電源	AC100V (50/60Hz)
	消費電力	47W (AC100V)
	待機時消費電力	0.6W(電源ボタン「切」時、クイック起動オフ時)
	区分名	BEE
	年間消費電力量	60kWh/年(クイック起動オフ時)
	外形寸法	39.7(高さ) × 53.7(幅) × 17.4(奥行)cm
	質量	約4.3kg
	映像入力端子	1.0Vp-p 75 Ω (RCAピンジャック) × 2
	S-映像入力端子	(Y)1.0Vp-p (C)0.268Vp-p, 75 Ω (S 端子)
	D4 映像入力端子	(Y)1.0Vp-p (CB/CR)0.7Vp-p, 75 Ω
	音声入力端子	-8dBm 50k Ω (RCAピンジャック) × 2
	デジタル音声出力端子	0.5Vp-p 75 Ω (RCAピンジャック)
	PC入力映像端子 (1系統)	Mini-Dsub 15ピンジャック
	PC入力音声端子 (1系統)	3.5Φmmジャック
	許容動作温度	(動作時) 5℃～40℃ (保存時) -20℃～60℃
	許容相対湿度	80%以下
	液晶画面	画素数:水平1366 ×垂直768 ピクセル
	受信チャンネル	地上アナログ:VHF1～12/UHF13～62/CATV C13～C38 地上デジタル:VHF1～12/UHF13～62/CATV C13～C63
	音声実用最大出力	1.5W + 1.5W
	スピーカー	2.5 × 6.9 cm, 8 Ω × 2(楕円)
	ヘッドホンジャック	3.5Φmmジャック
	アンテナ入力	U/V混合 F型コネクター75 Ω
リモコン	電源	DC3V(単3乾電池×2)
	質量	約96g
	リモコン操作距離	約5m(ただし直進)
付属品	リモコン×1、単3乾電池×2、電源コード×1、B-CAS(ビーキャス)カード×1 本体スタンド×1、スタンド固定用ネジ×2	

ディスプレイの型は画面寸法を表すものではなく、有効画面の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。

年間消費電力とは： 省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。
実物とは多少異なりますのでご了承ください。
外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
本機をご使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan.

DOSHISHA CORPORATION

発売元 株式会社ドウシシャ

株式会社ドウシシャ　福井AVサービス
〒915-0801　福井県越前市家久町41-1
☎ (0778)24-2779
FAX (0778)24-2799

J37Z0201A SH 09/02 Ⓚ

Printed in Thailand